

平成18年度

主要施策の成果
及び
実績報告書

坂 城 町

目 次

【一般会計】

1 . 議 会 費	1
2 . 総 務 費	3
3 . 民 生 費	12
4 . 衛 生 費	19
5 . 労 働 費	26
6 . 農林水産業費	27
7 . 商 工 費	32
8 . 土 木 費	34
9 . 消 防 費	39
10 . 教 育 費	40
11 . 災 害 復 旧 費	49
12 . 公 債 費	51

【特別会計】

1 . 有線放送電話特別会計	52
2 . 国民健康保険特別会計	53
3 . 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	53
4 . 老人保健特別会計	54
5 . 下水道事業特別会計	54
6 . 工業地域開発事業特別会計	56
7 . 介護保険特別会計	57

1 議 会 費

議 会 費
議 員 数
会 議

決 算 額 95,224,561 円

平成 1 8 年 5 月 1 日現在 18 名

会 議 名	回 数	延べ日数
町 議 会 定 例 会	4 回	57 日
” 臨 時 会	2	2
全 員 協 議 会	10	10
常 任 委 員 会	26	26
特 別 委 員 会	21	21
議 会 運 営 委 員 会	14	14

議会報の発行

住民と議会をつなぐかけ橋として議会情報を掲載、年 4 回発行した。

議会テレビ放送

開かれた身近な議会として、議会の様子が直接町民にわかるように、上田ケーブルビジョンの協力を得て、一般質問のテレビ生放送と録画放送を実施した。

視察、調査

・ 総務文教常任委員会

(5月26日) 下諏訪町立北小学校の英語教育推進特別区域の取り組みについて、研修した。平成 16 年 3 月に認定され、英語教育を全学年で実施していた。

(8月7日) 埼玉県吉見町の公民館活動について研修をした。中央公民館と 4 つの地区公民館がある。中央公民館は町内全体を対象にしており、各地区公民館と重層になっているのが特徴で、地区公民館では、地域の自主的な企画により事業が行われていた。

(11月13～15日) 大分県臼杵市の文化財保護と熊本県富合町の小中一貫教育研究発表会に参加し、研修を行った。臼杵市の臼杵石仏（磨崖仏）は、崩壊破損が甚だしかったが 2 度の修復工事により、昔の荘厳な姿で保存されていた。富合町は平成 16 年 4 月から構造改革特別区域の認定を受け、小中一貫教育に取り組み「確かな学力を身につけ、国際社会に貢献できる児童・生徒の育成を目指して」を研究主題に掲げて、公開授業を行っていた。

(1月24日) 3 小学校のアスベスト除去工事後の状況及び校舎等改修について現地調査を行った。

・ 産業建設常任委員会

(4月28日) 新幹線横坑のホワイトアスパラの栽培などの調査を行った。

(8月28～29日) 東京都葛飾区の賃貸型工場ビルの取り組みについて研修を行った。東四つ木工場ビルは地上 4 階建で、経営規模の拡大を図ろう

としている企業に、操業の場を提供する賃借型の工場ビルであった。

- (10月12日) チクマ精工跡地、まちづくり交付金事業の現地調査を行った。
- (2月1日) 凍上災害舗装工事後の状況、農産物加工センターの運営状況と見通しについて調査を行った。

・社会常任委員会

- (4月20日) 網掛共同園芸施設について現地調査を行った。
- (5月18~19日) 栃木県高根沢町、群馬県板倉町の生ゴミの堆肥化と後利用について、研修を行った。高根沢町土づくりセンターの処理能力は15t/日で、搬入する指定袋は分解する袋を使用していた。板倉町資源化センターは処理能力20t/日、できた堆肥を無料で町民に配布していた。
- (7月11日) 地域包括支援センターの状況とチクマ精工跡地の調査を行った。
- (10月20日) 長野赤十字上山田病院の状況調査を行った。
- (1月23日) 町内社会福祉施設の状況調査を行い、障害者自立支援法について宝池月影寮の現地調査を行った。

・高速交通網対策特別委員会

- (8月24日) 関東地方整備局、国土交通省、国会議員等に国道18号坂城・更埴バイパス(鼠橋~主要地方道長野上田線力石バイパス間)の早期事業化に向けて、陳情を行った。
- (1月15日) 長野県知事、土木部長、長野国道事務所長に国道18号坂城・更埴バイパス(鼠橋~地方道長野上田線力石バイパス間)の早期事業化に向けて、要望活動を行った。

・坂城駅周辺整備特別委員会

- (10月10~11日) 富山県入善町の中心市街地整備の取り組み、及びJR入善町駅前整備状況と、富山市八尾町の市街地活性化の取り組みについて研修を行った。入善町は電線の地中化により開放間のある空間の創出、いろいろなイベントが可能な段差のない歩車道等の改良事業を行っていた。富山市八尾町は、おわら風の盆や曳山が映える石畳舗装、無電柱化等の整備が行われていた。

・議会運営委員会、議会報編集委員会

- (11月5~7日) 宮城県本吉町の議会報告会の取り組みと議会運営について、大郷町は議会報の取り組みについて研修を行った。本吉町議会は、議会の活性化を図り、議会の監視機能及び政策提言機能を効果的に発揮し、住民の負託に応え得る議会づくりに資するため、一問一答式及び対面式を行っていた。また、議会に対する批判、意見、提言等町民の声を直接広く聴取する趣旨で、議会報告会を開催していた。大郷町の議会報は、4回の編集委員会で作成し、読みやすく、わかりやすく、親しみやすい紙面づくりに努めており、いろいろな賞を受賞していた。

2 総務費

一般管理費

決算額 377,063,388 円

平成 15 年度に策定した「行財政改革推進計画～自律のまちづくりへの道しるべ～」を基本として、地方行革の推進のため国において閣議決定された「今後の行政改革の方針」と合わせた、平成 21 年度までを目標とした「坂城町行財政改革推進計画～自律のまちづくりへのみちしるべ～＜集中改革プラン＞」に基づき、平成 18 年度においても簡素で効率的な行政運営を確立するため、これまでの仕事の仕方を足元から見直しながら、改革への具体的なステップを計画的に実施している。

特に 18 年度においては、地方自治法の改正に対応しながら、役場組織機構の改革に着手し、平成 19 年 4 月 1 日施行を目途に課の再編に取り組んだ。

また、平成 17 年 3 月に制定した「坂城町人事行政の運営等の状況の公開に関する条例」に基づき、12 月広報に人事行政の運営等に関する次の項目の公表を行った。

- (1) 職員の任免及び職員数に関する状況
- (2) 職員の給与の状況
- (3) 職員の勤務時間その他の勤務状況の状況
- (4) 職員の分限及び懲戒処分の状況
- (5) 職員のサービスの状況
- (6) 職員の研修の状況
- (7) 職員の福祉及び利益の保護の状況
- (8) 勤務条件に関する措置の要求の状況
- (9) 不利益処分に関する不服申し立ての状況

さらに、全国の地方公共団体の給与情報等公表システムが構築され、坂城町における給与・定員管理等の下記項目について町ホームページに掲載した。

- (1) 人件費、職員給与費の状況
- (2) ラスパイレス指数の状況
- (3) 職員の平均給与月額、初任給等の状況
- (4) 一般行政職の級別職員数等の状況
- (5) 職員の手当の状況
- (6) 特別職の報酬等の状況
- (7) 職員数の状況

また、職員の資質の向上を図り、町及び地域行政の効率的な運営に資することを目的に次の研修を実施した。

研 修 名	参加者数	研 修 名	参加者数
新規採用職員研修	3名	職員研修	
新入職員人権同和教育研修	3名	「これからの自治体が目指すもの」	52名
行政事務情報化研修	1名	甲種防火管理者講習	1名
償却資産事務研修	1名	税務職員初任者研修	3名
第1回管理職員共同研修	2名	職員研修 「地域ブランドの時代」	37名
中堅行政職員研修	2名	係長研修	2名
宿泊型職員共同研修	1名	職員研修 「美しいことばづかい」	30名
一般行政職員研修	2名	住民税事務研修	4名
部課長研修	1名	健康づくりセミナー	1名
第2回管理職員共同研修	1名		

文 書 費

決 算 額 12,737,683 円

文書の一括発送、町内配達を実施した。
町例規集の加除に係わる印刷製本を行った。

財政管理費

決 算 額 3,067,172 円

主要施策の成果及び執行実績報告書を作成した。
坂城町の財政状況の公表、財政分析資料を作成した。

財産管理費

決 算 額 321,248 円

公有財産の測量調査等を行った。

企 画 費

決 算 額 49,577,184 円

行政事務委託

委託料 7,743 千円

行政事務の推進について、契約に基づき各自治区に文書の配布等を依頼し、行政効果の推進と経費節減を図った。

地域づくり活動支援事業

補助金 2,516 千円

自治区等が創意工夫により主体的に実施する地域づくりに係る事業に対し、資金の助成を行うことにより、住民参加のまちづくりを推進し、コミュニティの活性化を図ることを目的に17年度から3年間の事業として実施しており、公開による事業選考会を開催する中で12区への補助を行った。

(単位：円)

区 名	事 業 名	事 業 概 要	上:総事業費 下:交付決定額
金 井	「金井ひろば」の花壇整備事業	昨年から整備を進めている「金井ひろば」の花壇を、より充実したものにし、花壇づくりや花の管理を通して、区民の親睦と交流を更に深めました。	118,498 100,000

泉	区民ふれあいの集い	夏祭りやカラオケ大会等を開催し、世代を越えた区民の交流や親睦の輪が広がり、地域の活性化を推進しました。普段あまり接点のない子どもと大人(お年寄り)の交流を通して、風通しのよい地域を形成を図りました。	249,361
			68,000
中之条	中之条永代々神楽復活事業	50年以上途絶えていた中之条の獅子舞神楽を復活し、区民の中から舞い手、楽人を養成し、江戸時代から伝わる伝統文化を蘇らせました。また、復活に向けて区民の心を結集させ、地域文化を支える人材を育成しました。	848,654
			300,000
四ッ屋	コミュニティガーデンづくり	花いっぱい運動の一環として、区民自らが力を合わせてコミュニティガーデン(いこいのバラ園)を整備し、バラをはじめとした花づくりを通して子どもから老人まで集い楽しめる憩いの場を整備しました。	364,751
			300,000
田 町	十王堂まつり	毎年1000人以上が訪れる十王堂の縁日に合わせ、笹舟流し、盆おどり等を行い、区民が一体となった手作りによる夏祭りを開催し、地域の活性化を推進すると共に地域の伝統文化の継承を図りました。	203,168
			130,000
旭ヶ丘	区民憩いの広場づくり事業	現在の区民広場の問題点を区民自らの手で改善し、利用しやすく愛着の持てる憩いの広場を整備しました。また、植樹や芝貼り、テーブルやベンチの制作・管理を通して、区民のコミュニケーションを図りました。	383,394
			300,000
南日名	長寿社会の地域づくり	地域の子供達と高齢者が、世代を越えて交流する機会を、毎月1回定期的に設けて、地域のコミュニケーションの場づくりを推進すると共に、高齢者の生きがいづくり、子どもの安全確保にもつなげました	69,381
			54,000
北日名	しだれ桜の里づくり事業	30年前からの地域の願いをもとに、三社山広場一帯にしだれ桜を植え、地域の良好な景観づくりを図ると共に、子ども達の遊び場や、地域住民の憩いの場として整備しました。	344,845
			300,000
苅屋原	苅屋原区清掃の日と夏祭り	学童の安全と環境整備の観点から、子ども達の夏休みに合わせて、区民総出で区民広場や区内道路の清掃活動の実施や、清掃した広場を会場に区民全員参加の夏祭りを開催し、区民はもとより帰省した方々とのコミュニケーションを図り、ふるさとへの愛着を深めました。	152,137
			82,000
上五明	区民参加による上五明区の活性化促進	里山整備、緑化推進、神楽・長もちの育成、区民報の発行、文化祭等の一連のつどいの場づくりを推進し、区民の連帯意識の高揚と、より活動的な地域づくりを進めました。	401,548
			300,000
上 平	出浦沢川環境整備と蛸の復活	区内の中心を流れる出浦沢川環境を整備し、台風で全滅した蛸の復活を目指すと共に、周辺広場への植樹やポンボリの設置を行い、区民相互の親睦を図りながら河川や蛸に対する愛と情緒を育み、郷土愛の醸成を図りました。	330,295
			300,000
月 見	月見区「ふるさと創生いきいき活動」事業	健康で活力ある地域をつくるため、区民ボランティアでの広場(千曲川ネムノキ公園)の整備、夏祭り、マレットゴルフ大会を実施し、区民による諸活動の活性化を通して、いきいきとした地域づくり、仲間づくり、ふるさとの創生を推進しました。	294,902
			132,000
合 計			3,760,934
			2,366,000

村上氏フォーラム事業 事業費 893 千円

町の50周年記念事業として開催した「信濃村上氏フォーラム」を起点としたふるさとの歴史に学ぶ事業として、奈良県吉野町から講師を招いての村上氏講演会や、住民を対象とした村上氏散策会を2回開催した。また、住民の主体的な活動として、有志により結成された「信濃村上水軍」の愛媛県今治市にて開催される水軍レースへの初参加を支援した。

長野大学との「実践モデル都市に関する協定」の締結

これまで各分野ごとに進めてきた長野大学との連携をさらに一歩進め、町として一体的、継続的な連携を図るため、協定を締結した。

この協定においては、町が大学の持つ知的資源を活用するだけでなく、大学においても、坂城町を研究や教育を実践する場所として位置づけ活用し、相互の活性化をめざすこととしている。

- ・平成18年10月20日 協定調印式（長野大学）
- ・平成18年11月10日 第1回連携協議会（坂城町）

千曲川の水辺を考える懇話会

ふるさとの原風景でもある千曲川の環境を保全するとともに、水辺を活用した水と緑の憩いの場を創り出し、豊かな自然と人と産業とが共存するまちづくりに活かすため、公募委員を含め、日頃千曲川にかかわる皆さんを中心とした町民参加による懇話会を設置した。

- ・平成18年12月14日 第1回懇話会開催
特別委員 4名
委員 24名（内公募委員 6名）

広報広聴費 決算額 10,409,997 円

広報「さかき」の発行 事業費 3,467 千円

町政の内容や各種事業のお知らせをはじめ、町民の生活に必要な知識などを情報提供することにより、町民参加の開かれた町づくりを推進するよう努めた。

- ・定例発行（毎月1回） 年12回

電子自治体事業 事業費 2,618 千円

国の機関、各都道府県庁、各自治体をセキュリティの高い行政専用ネットワークで結ぶために構築した「総合行政ネットワーク（LGWAN）」のサービス提供装置及び公的個人認証装置の保守管理費。LGWAN 機器は、株式会社電算のセキュアデータセンター（SDC）に設置し、LGWAN アクセス回線使用料も含めて保守管理を委託している。

電子自治体事業推進により、行政間の文書や情報の共有化・効率化を進めるとともに、電子申請・届出等のオンライン化を目指し、個人と行政、企業と行政間における電子サービスが可能となる。

電 算 費 決 算 額 20,967,065 円

電算システム運用事業

住民基本台帳をはじめとする総合行政システム、財務会計システム等について、新システムへの更新を行うとともに、引き続き安定した電算業務処理を進めることに努めた。

・ハードウェア及びソフトウェア保守料等 4,610 千円

・ハードウェアリース料及びソフトウェア使用 14,058 千円

業務管理費 決 算 額 53,008,451 円

役場庁舎及び庁用車の保守管理を行った。

議場会議システムの更新工事（平成 18 年度分 4,000,000 円）を行った。

防犯対策費 決 算 額 4,576,795 円

季別地域安全運動の実施

春・夏・秋及び年末特別警戒の 4 回、防犯関係団体の協力のもと地域安全運動を実施し、地域ぐるみで犯罪未然防止に努めるとともに防犯意識の高揚を図った。

期 間	名 称
4 月 1 1 日 ~ 2 0 日	春の地域安全運動
8 月 5 日 ~ 2 5 日	夏の地域安全運動
1 0 月 1 1 日 ~ 2 0 日	全国地域安全運動
1 2 月 1 日 ~ 3 1 日	年 末 特 別 警 戒

防犯灯設置事業 807 千円 (新設) 24 灯

地区名	箇所数	地区名	箇所数	地区名	箇所数
鼠	3	四ツ屋	2	日名沢	1
金 井	2	田 町	1	大 宮	1
入横尾	1	込 山	2	上五明	1
町横尾	1	旭ヶ丘	1	上 平	1
泉	1	南日名	1	小 網	1
中之条	2	北日名	1	月 見	1

交通安全対策費 決 算 額 5,159,609 円

季別交通安全運動の実施

交通安全の確保を図るため、交通安全関係団体の協力を得て安全対策及び安全教育を推進した。また、季別交通安全運動を実施し、交通事故防止に努めるとともに交通安全意識の高揚を図った。

期 間	名 称
4 月 6 日 ~ 1 5 日	春の全国交通安全運動
7 月 2 5 日 ~ 3 1 日	夏の交通安全やまびこ運動
9 月 2 1 日 ~ 3 0 日	秋の全国交通安全運動
1 2 月 1 1 日 ~ 3 1 日	年末の交通安全運動

坂城男女共同みんなの会及び女性団体連絡会と町政懇談会を開催。(1月23日)
 女性の自己啓発と諸問題解決のため、県主催の講座・研修会等に参加。
 町内各種女性団体の相互連絡及び親睦を深め、女性の地位向上を図るため、女性
 団体の育成を行った。
 男女共同参画の実現のため、町民等の自発的な参加による推進団体として設立さ
 れた「坂城男女共同みんなの会」の活動を支援した。

税務総務費及び賦課徴収費 決 算 額 101,296,865 円

委員会等の状況

名 称	定 数	会議等開催回数
固定資産評価審査委員会	3 人	1 回

納期前納入の状況

・件 数 4,571 件 (金 額 5,663 千円)
 ・報償金交付率 月利 0.2% (年利換算 2.4%)

主な事務・事業等

町税等の賦課・徴収

本年度は、定率減税の縮減など税制改正により個人町民税が 47,043 千円の増、軽自動車税についても 560 千円の増となっている。昨年大幅に伸びた法人町民税は 59,717 千円の減、固定資産税についても 17,392 千円の減となっている。町税全体では収入済額が 2,783,162 千円で、前年度と比較して金額で 27,175 千円、率で 1.0%の減となった。

収納率は、個人町民税が 0.6 ポイント、法人町民税が 0.2 ポイント、固定資産税が 1.2 ポイント、軽自動車税が 2.7 ポイントそれぞれ減少しており、町税全体では 93.2%、前年度対比 0.8 ポイントの減となった。

また、収納向上対策として、毎月 1 回の特別滞納整理をはじめ、納税相談、臨戸徴収等により収入未済額の減少に努めたが、就業形態の変化などによる所得格差の拡大、建設業、個人事業等の収益減など依然厳しい状況が続いている。

(単位：千円、%)

区 分	調 定 額		収 入 済 額		収 納 率		
	現年分	滞繰分	現年分	滞繰分	現年分	滞繰分	合計
町 税	2,808,258	179,292	2,766,380	16,782	98.5	9.4	93.2

納税申告相談

平成 19 年 2 月 16 日から 3 月 15 日まで実施。 受付件数 1,344 件

戸籍住民基本台帳費

決 算 額 38,531,022 円

住民基本台帳人口、世帯数、外国人登録者数（平成19年3月31日現在）

区 分	件 数	前年対比
総 人 口	16,489人	+ 8
男	8,083人	+ 12
女	8,406人	- 4
世 帯 数	5,728世帯	+ 72
外国人登録者数	628人	- 22

住民票異動件数

区 分	件 数	区 分	件 数
転 入	527	出 生	129
転 出	492	死 亡	154

証明件数（有料分）

区 分	件 数
戸 籍 関 係	6,024
住 民 票 関 係	8,574
印 鑑 証 明 書	7,177

戸籍届出件数

区 分	総 数	本籍人届出 （当町受理）	非本籍人届出 （当町受理）	本籍人届出 （他市町村受理）
出 生	208	87	49	72
死 亡	169	126	13	30
婚 姻	216	59	9	148
離 婚	47	27	3	17

住民基本台帳ネットワークシステム

市区町村の住民基本台帳をネットワークで結び、国や都道府県を含めた行政機関で共有するシステム。このシステムを利用し、他市区町村から転入者があった場合、その転入を受理したことの通知を転出した市区町村に住基ネットを通じ行った。

また、住基カードの交付や住民票の広域交付で利用した。

選挙管理委員会費 決 算 額 628,518 円
夏期政治講座に参加し、選挙管理委員の資質向上を図った。

長野県知事選挙費 決 算 額 8,361,133 円
平成 18 年 8 月 6 日執行 投票率 65.62% (前回 74.29%)

農業委員会選挙費 決 算 額 845,471 円
平成 18 年 5 月 7 日告示 無投票

県議会議員選挙費 決 算 額 2,427,497 円
平成 18 年度分
平成 19 年 4 月 8 日執行 投票率 62.59% (前回 64.36%)

監査委員費 決 算 額 572,936 円
監査事務実施状況

区 分	日 数
例 月 出 納 検 査	12 日
定 例 監 査	4 日
財 政 援 助 団 体 監 査	1 日
一般会計・特別会計決算審査	5 日
現 場 検 査	1 日
住 民 監 査 請 求 監 査	4 日

3 民生費

社会福祉総務費 決算額 170,531,948円

本格的な少子高齢社会を迎え、町民福祉の向上やうるおいのある福祉政策は、ますます重要さを増しており、地域住民の福祉に対する二・ズも多岐多様化している。これを踏まえ各種の地域福祉事業を実施した。

福祉委員（民生児童委員）38人の活動状況

内容別 相談・ 支援 件数	在宅福祉	73	分野別 件数	生活環境	88	その他の 活動 件数	調査・実態把握	576
	介護保険	23		日常的な支援	458		証明事務	526
	健康・保健医療	51		その他	223		地域福祉活動・自主活動	644
	子育て・母子保健	25		計	1,184		行事・事業・会議への参加協力	1,343
	子どもの地域生活	52		高齢者に関すること	639		民児協運営・研修	972
	子供の教育・学校生活	114		障害者に関すること	80		要保護児童の発見の通告・仲介	6
	生活費	25		子どもに関すること	235		訪問回数	4,207
	年金・保険	5		その他	230		連絡調整回数	1,229
	仕事	6		計	1,184		活動日数	4,528
	家族関係	29		民生児童委員の活動状況は、福祉行政報告例第40表に基づくものである。				
住居	12							

平均すると1人当たり

- ・相談指導件数 31件
- ・活動日数 119日
- ・訪問回数 111回
- ・定例会議 毎月1回

国民年金事務費 決算額 1,025,299円

国民年金業務については、無年金者の発生防止及び事業の安定確保を図る観点から、引き続き対象被保険者の的確な把握と適用に努めた。

広報活動として、「しなの国民年金」の全戸配布（年4回）成人者へのパンフレットの配布を実施した。また、「広報さかき」に適用関連記事を随時掲載し、年金制度の周知を図るとともに、経済的理由等により保険料を納めることが困難な者への免除制度の適用についても周知した。

窓口においては、国民年金資格取得者に対して、口座振替、納付指導及び学生納付特例制度等の周知を図った。

被保険者数 （単位：人）

第1号 被保険者	任意加入 被保険者	第3号 被保険者	被保険者 総数	保険料免除者数			学生の 納付 特例者
				法定免除	申請免除	計	
2,233	27	1,126	3,386	133	338	471	163

老人福祉費

決算額 323,971,368 円

高齢者の割合は年々増加し、平成 18 年 10 月 1 日現在の町内 65 歳以上の高齢者人口は、4,188 人(25.38%)となり、高齢社会は着実に進行している。

このような状況の中で、地域包括支援センターや在宅介護支援センター、社会福祉協議会等と連携を図りながら、高齢者福祉に係る各種事業を実施した。

また、介護保険制度の施行に併せて、高齢者の介護予防・生活支援事業の拡充を図るとともに、介護予防事業の拠点と温泉を利用した健康増進を図るための施設「ふれあいセンター」の運営を行った。

高齢者人口 [H18.10.1 現在]

(単位：人)

年齢階	男	女	計	構成比
65 ~	509	534	1,043	総人口 16,503 人
70 ~	476	531	1,007	
75 ~	391	510	901	
80 ~	245	407	652	
85 ~	116	244	360	
90 ~	39	119	158	
95 ~	11	56	67	
計	1,787	2,401	4,188	25.38%

老人クラブの状況 (60 歳以上) [H18.10.1 現在]

クラブ数	会員数	入会率
15	1,858 人	34.5%

事業の状況

(単位：千円)

事業名	内容	決算額
老人大学設置運営事業	学生数 17 人	272
敬老祝金事業	77 歳 10,000 円 191 人	4,315
	88 歳 15,000 円 54 人	
	89 歳 ~ 98 歳 5,000 円 241 人	
	99 歳 20,000 円 7 人	
	100 歳以上 30,000 円 8 人	
老人医療給付事業	支給件数 723 件	1,740
更埴地域広域シルバー人材センター補助事業	坂城地区会員 173 人	3,785
	受託事業 123,988 千円	
老人クラブ補助事業	老人クラブ活動費補助	1,913
高齢者生活支援事業	外出支援サービス 延べ 117 回	1,243
介護予防施設運営事業	ふれあいセンター 延べ 8,223 人	5,677

心身障害者福祉費

決算額 195,215,573円

障害を持つ人に技能修得・就労の機会を提供し、社会生活への適応性を高めることを目的とする「開畝共同作業センター」の運営をはじめ、障害を持つ人も持たない人も、誰もが等しく家庭や住み慣れた地域で、お互いに人間として尊重しあいながら生活ができるようにしていくという「ノーマライゼーション」の考え方に基づき、心身障害者福祉の各種事業を積極的に実施した。

身体障害者状況 [19.3.31 現在]

(単位：人)

	視覚	聴覚	肢体	言語	聴覚	内部障害	障害等級別						
							1	2	3	4	5	6	計
児	1	0	9	0	0	0	4	1	3	2	0	0	10
者	57	63	459	6	9	150	183	136	144	181	47	53	744

事業の状況

(単位：千円)

事業名	内容	決算額
開畝共同作業センター運営事業	利用者延べ 2,282人	10,786
障害者スポーツ大会	参加者 28人	155
じん臓機能障害者通院費補助事業	1/2 補助 29人	1,775
知的障害施設通園、通学費補助事業	1/2 補助 13人	318
重度心身障害者タクシー利用券交付事業	利用回数 1,733回 交付者 143人	1,127
重度障害者介護慰労金支給事業	年額90,000円 14人	1,170
重度心身障害者福祉年金支給事業	該当者 318人	7,348
心身障害者医療費給付事業	給付件数 10,302件	38,148
特定疾患見舞金支給事業	年額12,000円 49人	600
障害者一時介護事業	利用者 19人	1,115
身体障害者施設入所措置事業	入所者 1人	1,907
補装具交付事業	利用者 35人	3,767
更生医療給付事業	利用者 7人	579
日常生活用具給付事業	利用者 16人	1,001
障害者自立支援費(施設)	利用者 52人	102,346
障害者自立支援費(居宅)	利用者 20人	8,899

人権同和推進費

決算額 22,394,149 円

差別のない明るい社会「人権尊重のまちづくり」を目指して、人権同和啓発・推進に努めた。

推進機関 坂城町人権同和啓発推進会議 委員 28 名を委嘱

町民集会 人権を尊重し豊かな福祉の心を育む町民集会の開催

12月15日 参加者 580人

補助金等 部落解放運動を進める団体等への支援

補助金交付団体名	決算額
部落解放同盟坂城町協議会	3,300千円

同和対策集会所事業 1,020 千円

隣保館運営費

決算額 9,666,267 円

地域社会の中で福祉の向上や人権啓発の交流の場となるコミュニティセンターとして位置付け、各種相談事業をはじめ啓発・講座等事業などを積極的に展開した。

隣保館利用状況

利用件数	利用者数
563件	7,489人

地域交流促進事業（講座開設）

講座名	実施回数	参加者（延べ）
手芸教室	11	55人
太極拳教室	24	624人
スマイルボウリング教室	12	440人
高齢者ダンス教室	24	432人

・隣保館ふれあい交流フェスタ 6月24日～25日

地域住民の交流と親睦を深め、差別のない明るい地域づくりを目的に、各講座の成果の発表や作品の展示・啓発パネルの展示・ふれあい楽習及び交流交歓会などの催しに延べ285名の参加があった。

高齢者対策費

決算額 13,827,770 円

おおむね 65 歳以上の者であって、身体上もしくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な者に対して、「養護老人ホーム」への入所措置を行った。

老人ホーム入所状況 [19.3.31 現在] (単位：人)

養護老人ホーム			
はにしな寮	6	尚和寮	1

地域包括支援センター - 費

決 算 額 44,031,259 円

介護支援体制のより一層の充実を図るため、地域包括支援センター並びに在宅介護支援センター「ケアステーションさかき」において、在宅介護等に関する相談を 24 時間体制で応じ、高齢者等の生きがい活動支援事業、家族介護支援事業などの保健福祉サービスを提供するとともに、介護保険制度に基づく介護予防事業を実施機関等と連携を図りながら、介護ニーズに総合的な対応を行い、地域の高齢者やその家族の福祉向上に努めた。

要介護・要援護老人数 [H18.10.1 現在]

認知症老人	寝たきり老人	独り暮らし老人
17人	88人	210人

事業の内容

(単位:千円)

事業名	内 容	決 算 額
生きがい活動支援通所事業	登録者 72人 利用者 延べ 2,992人	6,480
老人福祉センター運営事業	開館日数 234日 夢の湯利用者 延べ 11,864人	12,500
住宅整備補助事業	利用者 1人	700
寝具洗濯等サービス事業	利用者 47人	257
独り暮らし老人訪問員手当支給事業	訪問員 136人	2,309
あんしん電話設置事業	センター 2ヶ所 利用者 180人	3,045
寝たきり老人等介護者慰労事業	介護者 127人	9,255
介護用品購入費用支給事業	利用者 178人	4,125

児童福祉総務費

決 算 額 119,865,571 円

事業の状況

(単位:千円)

事業名	内 容	決 算 額
児童手当支給事業	被用者 延べ 3,073人	102,270
	非被用者 延べ 938人	
	特例給付 延べ 156人	
	被用者小学校修了 延べ 10,325人	
	非被用者小学校修了 延べ 3,229人	
乳幼児医療費支給事業	支給件数 10,488件	16,349

母子福祉費

決算額 5,210,470円

母子家庭 137 世帯の自立育成のため、下記事業を実施し、その自立促進と費用負担の軽減に努めた。

母子福祉 [H19 . 3.31 現在]

母子世帯	母子となった原因					
	死 別			生 別		
	病 死	事 故 死	自 殺	離 婚	遺 棄	そ の 他
137	10	1	3	108		15

事業の状況

(単位：千円)

事業名	内 容	
母子家庭等医療費支給事業	母子家庭等 2,076 件	4,812
	父子家庭 39 件	119
母子家庭等児童激励祝金支給事業	小・中学校入学 5,000 円 24 人	270
	中・高卒業 5,000 円 30 人	

保育園総務費

決算額 202,061,107円

保育所定員

南条保育園	180 人
坂城保育園	130 人
村上保育園	120 人

月別入所児童数(園別)

(単位：人)

月	未満児			3 歳児			4 歳児以上			計		
	南条	坂城	村上	南条	坂城	村上	南条	坂城	村上	南条	坂城	村上
4	30	14	13	46	32	27	91	63	58	167	109	98
5	31	14	15	45	32	27	91	62	58	167	108	100
6	31	14	17	45	32	27	90	62	58	166	108	102
7	31	16	17	45	32	27	90	63	59	166	111	103
8	33	16	16	46	32	27	90	62	59	169	110	102
9	32	17	17	46	32	27	90	62	59	168	111	103
10	34	17	17	46	32	27	89	61	59	169	110	103
11	35	17	17	46	32	27	90	61	59	171	110	103
12	35	17	17	46	33	27	89	61	59	170	111	103
1	35	17	16	46	33	26	89	61	59	170	111	101
2	35	17	18	46	33	27	89	61	59	170	111	104
3	36	17	17	46	33	27	89	61	58	171	111	102
計	398	193	197	549	388	323	1077	740	704	2024	1321	1224

各保育園費

決 算 額

南条保育園 43,002,721 円

坂城保育園 29,949,253 円

村上保育園 26,681,998 円

保護者が労働に従事したり、あるいは疾病にかかっているなどのため、家庭において十分保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって一般家庭と同様の保育を目的に、保育目標を達成するよう地域に根ざした保育をめざし運営してきた。

定員・クラス数及び職員数

(単位：人)

項 目		南条保育園	坂城保育園	村上保育園
定 員		180	130	120
ク ラ ス 数	0 歳 児	2	-	-
	未 満 児	5	3	3
	3 歳 児	3	2	2
	4 歳 児	2	1	2
	5 歳 児	2	2	1
職 員 数	園 長	1	1	1
	主 任	1	1	1
	保 育 士	13	7	7
	調 理 技 手	3	2	2
	栄 養 士	1	-	-

年間延べ入所児童数

(単位：人)

項 目	南条保育園	坂城保育園	村上保育園
未 満 児	398	193	197
3 歳 児	549	388	323
4 歳 児 以 上	1,077	740	704
計	2,024	1,321	1,224

一時保育の実施

子育て支援の一環として、家庭の都合で保育ができないときに、保育園で一時的に預かる事業を実施した。

実施保育園	南条保育園	坂城保育園
延べ人数	687 人	775 人

児童館運営費 決算額 9,809,297 円
 放課後児童健全育成費 決算額 8,811,017 円

共働き家庭の児童を中心に、一般家庭の児童も含めて、下校時からの時間を有意義に過ごさせることにより、「カギッ子」対策及び健全育成対策に幅広く活動を行った。

年間開館日数及び延べ利用状況

	開館日	登録児	来館児	計
南条児童館	240 日	8,751 人	402 人	9,153 人
村上児童館	240	10,529	255	10,784
坂城児童館	239	14,613	1,235	15,848

子育て支援センター事業費 決算額 8,154,676 円

坂城町の子育て家庭を支援し、児童及びその家庭の福祉の向上に寄与することにより、子育て支援政策の推進に努めた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用組数	437	607	564	478	431	528	636	677	531	391	492	637	6,409
(相談件数)	27	25	53	40	50	56	62	45	46	59	54	34	551

ブックスタート事業

子育て支援を図ることを目的に親と子が言葉と心を通わす時間を持つため、絵本等を支給する「赤ちゃんに絵本を贈るブックスタート事業」を実施した。

- ・絵本を贈呈した乳児数 131 人

4 衛生費

保健衛生総務費 決算額 70,829,757 円

町民の健康増進に向けた健康づくり教室として、健康づくりふれあい塾を、また、栄養改善事業として料理講習会を開講した。

栄養改善事業

事業名	開催回数	参加延人員
小学生健康教室	4	100
食改学習会	7	105
作業所料理講習会	2	36
親と子の楽しい料理教室	3	100
シルバークッキング教室	1	30

保健補導員活動

各種生活習慣病予防検診の呼びかけと申し込みの取りまとめ、複十字シール募金への協力を通して、住民の健康増進・保健衛生思想の普及啓蒙を図った。

・保健補導員数

地 区	保健補導員数(人)
坂 城	8 8
中 之 条	3 1
村 上	5 1
南 条	5 6
全 地 区	2 2 6

献血推進対策

住民、企業の協力を得て、全血献血(200ml・400ml)を実施した。

	目 標 数	実 績	達 成 率(%)
全血献血	830人 (うち400ml献血614人)	657人 (うち400ml献血583人)	79.2 (400ml献血95.0)

開畝の里ぬくもり運営委託

精神障害者の社会復帰を支援するため、開畝の里ぬくもりの運営を社会福祉協議会に委託した。

委託料 3,600千円

予 防 費

決 算 額 20,669,368 円

母子保健事業

・乳幼児健康相談

	対象児数	受診児数	受診率(%)	内 容
7か月児健康相談	138	130	94.2	身体・精神発達面、離乳食、 歯科の保健指導及び絵本の 読み聞かせ
10か月児健康相談	137	124	90.5	身体・精神発達面のスクリー ニング及び保健指導
1歳児健康相談	131	111	84.7	身体・精神発達面のスクリー ニング及び保健指導
2歳児健康相談	131	96	73.3	身体・精神発達面・歯科の保 健指導及び相談
母と子のひろば	18回実施	(延べ) 134	(1回平均) 7.4人	集団遊び 親子のふれあい

・乳幼児健康診査

	対象児数 (人)	受診児数 (人)	受診率 (%)	診 察 結 果 (人)			
				要 観 察		要精検・要治療	
				身 体 面	精 神 発 達 面	身 体 面	精 神 発 達 面
4 か月児健康診査	141	140	99.3	23	1	13	0
1歳6か月児健康診査	141	124	87.9	0	0	0	0
3歳児健康診査	126	103	81.7	2	0	0	1
	歯 科 診 察 結 果						
	対象児数 (人)	受診児数 (人)	受診率 (%)	う歯保有児 (人)	う歯保有率 (%)	1人当たり う歯数	不正咬合 (人)
1歳6か月健康診査	141	124	87.9	2	1.6	0.06	15
3歳児健康診査	126	103	81.7	40	38.8	1.62	5

予防接種

・乳 幼 児

	対象児数 (人)	実施児数 (人)	実施率 (%)
三 種 混 合	511	442	86.5
B C G	135	129	95.6
ポ リ 才	270	214	79.3
麻疹風疹 1期	136	83	61.0
麻疹風疹 2期	153	123	80.4
合 計	1,205	991	82.2

【対象児数】...本来該当になっている児のみ 【実施児数】...対象児に対する実施児数

・小・中学生

	対象児数 (人)	実施児数 (人)	実施率 (%)
日 本 脳 炎			
二 種 混 合	153	147	96.1
合 計	153	147	96.1

・一 般

	接種者数 (人)
破 傷 風	15

・高 齢 者

	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)
インフルエンザ	4,282	2,642	61.7

・人間ドック受診状況 (国保・社保) (単位:人)

年 度	3時間ドック	1泊2日ドック	合 計
16年度	280	119	399
17年度	274	133	407
18年度	280	101	381

結核予防 委託料 791,490 円

対象者数	受診者数 (率)	要精検者数	医療機関受診結果		
			所見なし	所見あり	未判定
4,358 人	1,209 人 (27.7%)	98 人	48 人	41 人	13 人

(所見内訳)

疾病分類	人数	疾病分類	人数
結核	1	肺がん	2
陳旧性肺結核	8	その他の疾患	28

老人保健事業費

決算額 25,819,162 円

生活習慣病予防事業

(1)健康スクリーニング 8日間実施 委託料 11,347,124 円

・総合判定の結果

	男	女
要観察	23 人 (4.1%)	58 人 (6.2%)
軽度異常	18 人 (3.2%)	43 人 (4.6%)
要観察	117 人 (20.7%)	207 人 (22.2%)
要精検	171 人 (30.3%)	184 人 (19.7%)
要治療	8 人 (1.4%)	2 人 (0.2%)
治療中	227 人 (40.3%)	440 人 (47.1%)
受診者数	564 人	934 人

・主な疾患の割合

	男	女
高血圧	47.6%	33.3%
肥満	28.0%	23.4%
高脂血	19.3%	26.4%
高血糖・糖尿病	22.2%	11.5%
貧血	7.2%	11.1%

各種がん検診

項目 (委託料)	受診者数	要精検者数 (率)	精密検査結果(所見に重複あり)			
			異常なし (人)	がん (人)	その他の疾患 (人)	未受診者数 (人)
胃検診 (1,495,557 円)	369	16 (4.3%)	1	0	10	5
大腸検診 (2,244,000 円)	1,360	93 (6.8%)	28	2	21	42

子宮がん検診 (1,976,760円)	車	390	3 (0.8%)	0	0	3	0
	施設	180	1 (0.6%)	0	0	1	0
乳房検診 (1,263,234円)	視触診	252	29 (11.5%)	11	0	16	2
	マンモ	90	2 (2.2%)	0	0	2	0
肺がん検診 (2,702,700円)		468	85 (18.2%)	16	1	48	20
前立腺がん検診 (384,720円)		229	16 (7.0%)	2	3	7	5

子宮がん検診 【車】…検診車による集団検診 【施設】…医療機関委託による個別検診
乳房検診【視触診】…医師による診察 【マンモ】…マンモグラフィ検診=X線撮影

C型(B型)肝炎ウイルス検査

委託料 304,710円

受診者数	要精検者数 (率)	精検受診状況		要精検者内訳	
		受診者	未受診者	C型肝炎抗体陽性	B型肝炎抗原陽性
149人	3人 (2.0%)	3人	0人	0人	3人

骨検診

委託料 909,090円

受診者数 481人	検 診 結 果			
	要精検者数(率)	経過観察者数(率)	治療中(率)	異常なし(率)
	19人(4.0%)	95人(19.8%)	26人(5.4%)	341人(70.9%)

すこやかヘルスアップ事業

健康スクリーニング受診者の判定結果が、要経過観察者、要生活改善・要指導者を主な対象者として、集団学習・訪問学習・健康相談・家庭訪問・運動等実施し、治療の必要性や生活習慣の改善について理解を図った。

項 目	内 容	回 数 及 び 人 数	
基本健診結果 報告会	健診結果の説明 と保健指導	10日間	延べ参加人数 763人
高血圧予防の ための学習会	血圧についての 学習と運動療法	7回	延べ参加人数 108人
生活習慣病予防 のための筋力維 持基礎講座	体の基礎代謝を 高める学習	1回	参加人数 29人
チューブ体操 教室	筋力維持・強化	期 参加者数 24人	延べ参加人数 129人
		期 参加者数 31人	延べ参加人数 127人
		期 参加者数 28人	延べ参加人数 154人

環境衛生費

決 算 額 8,537,376円

環境衛生の向上を図るため、次の事業を実施した。

雑排水浄化槽汚泥処理事業 事業費 6,567千円 処理量 630.53kℓ

ゴミゼロ運動の日一斉行動

実施日	5月27日
参加人員	134人
空缶、空きビン、その他の収集	200kg
狂犬病予防注射事業 事業費	923千円
予防注射済数	1,129頭
不法投棄ごみ撤去事業 事業費	286千円

公害対策費 決算額 2,478,881 円

公害のない明るく住み良い町づくりのため、次の事業を実施した。

河川水質調査事業 事業費 1,554千円

15地点、14項目の定点定期測定等

・河川等定点定期測定結果

1. 測定地点	(1)六ヶ郷用水上流 (2)出浦沢川 (3)六ヶ郷用水下流 (4)福沢川 (5)宮沢川 (6)日名沢川 (7)前田用水 (8)入田川 (9)反町川(御堂川) (10)中之条用水下流 (11)前沢川 (12)谷川 (13)塚田用水 (14)中之条用水・塚田用水分岐点 (15)前沢川			
2. 調査回数	延べ調査回数 60回(4回/年×15地点)			
3. 分析結果	延べ調査回数60回のうち環境基準超過回数			
	・水素イオン濃度(pH)	14回	・総水銀(Hg)	0回
	・生物化学的酸素要求量(BOD)	24回	・鉛(Pb)	0回
	・浮遊物質(SS)	2回	・六価クロム(Cr ⁶⁺)	0回
	・溶存酸素量(DO)	2回	・砒素(As)	0回
	・大腸菌郡数	59回	・カドミウム(Cd)	0回
	・n-ヘキサン抽出物質	0回	・全窒素(T-N)	0回
	・全シアン(CN)	1回	・全リン(T-P)	0回

溶剤関係等地下(井戸)水調査事業 事業費 504千円

50箇所における測定(定点29箇所、不定点21箇所)

環境保全対策費 決算額 100,919,525 円

良好な自然環境及び社会環境を保全するため、一定規模以上の開発行為者に対して指導を実施した。

開発行為届出 19件

旧チクマ精工(株)跡地取得 用地取得費 20,060千円

用地面積 13筆 8,019.87m²

建築物 13棟 5,965.56m²(登記上)

土壤汚染状況調査及び建築物等解体処分工事 事業費 78,960千円

土壤汚染状況調査 8,019.87m²

建築物解体処分工事 20棟 6,680m²

土壤汚染状況調査及び建築物等解体処分工事施工監理業務委託

委託費 1,260千円

清掃総務費

決算額 810,348円

資源物収集庫設置工事 工事費 127千円

ごみ・危険物収集所整備補助事業 事業費 277千円

補助金交付件数 5件

塵芥処理費

決算額 197,257,027円

一般家庭より排出されるごみ等の収集、運搬処理及び廃棄物の減量化のため、次の事業を実施した。

ごみ・資源ごみ収集運搬業務委託 委託費 12,980千円

資源物回収奨励金事業 事業費 1,645千円

・古紙類等 517.395t

・古布類等 10.120t

・ビン類 55,762本

・金属類 9.514t

ごみ減量化容器等設置補助事業 事業費 327千円

生ごみ堆肥化容器設置補助数 25基

長野広域連合負担金 負担金 6,794千円

葛尾組合負担金 負担金 168,858千円

し尿処理費

決算額 63,037,000円

一般家庭から排出されるし尿等の処理を実施した。

千曲衛生施設組合負担金 負担金 60,599千円

し尿 9,090.0kl

浄化槽汚泥 639.7kl

上水道費

決算額 1,627,700円

坂城町県営水道普及促進補助金交付 11名(上五明7名、四ツ屋4名)

(2戸以上対象、補助率2分の1以内、受益者1件につき限度額50万円)

合併処理浄化槽設置費

決算額 12,285,000円

合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付 計30基

5人槽(補助金342千円/基) 7基

7人槽(補助金414千円/基) 20基

10人槽(補助金537千円/基) 3基

5 労働費

労政費 決算額 33,698,746 円

坂城勤労者総合福祉センター管理事業

雇用能力開発機構が建設し、坂城町に譲渡された施設の管理を委託し、勤労者の健康管理・文化活動・研修等各種事業を展開した。

(財)更埴地域勤労者共済会運営補助事業

勤労者福祉向上のため、更埴地域1市1町の勤労者互助会を広域化した財団法人運営のための補助を行った。

- ・「(財)更埴地域勤労者共済会」補助金 14,000 千円

中小企業退職金共済掛金補助事業

中小企業の退職金制度への加入促進、中小企業に働く労働者の福祉の増進と雇用の安定を図るため、中小企業退職金共済制度、特定退職金制度へ新たに加入した従業員の掛金を負担した事業所に対して、加入後1年間一人につき、月額600円を限度に補助を行った。

- ・33事業所 619千円（延べ1,031ヶ月分）

勤労者生活資金貸付預託事業

勤労者の生活の安定を図るため、町内1年以上居住の勤労者に対して、生活資金の融資あっせんを行うための預託。

貸付限度額 1,000千円 融資期間 5年以内

預託先	預託金(千円)	備考
長野県労働金庫	5,000	

新規あっ旋件数	新規あっ旋額(千円)	備考
3	2,400	

団体への補助事業

団体名	補助金(千円)	会員数(名)	備考
坂城町勤労者協議会	87	165	

労務対策費 決算額 1,690,000 円

建設国保事務費補助事業

建設業労働者の福祉の向上のため、建設国民健康保険の加入者に対して、補助金を交付した。

- ・対象者数 101名 40千円

団体への補助事業

団 体 名	補 助 金(千円)	事 業 所 数
テクノハート坂城協同組合	1,300	120
坂城町労務管理協議会	144	68

団 体 名	負 担 金(千円)	備 考
更 埴 職 業 安 定 協 会	190	協 会 負 担 金 (坂城地区 50 社加入) 企業ガイドブック作成負担金

6 農林水産業費

農業委員会費 決 算 額 19,738,174 円

「農業委員会等に関する法律」に基づき、農業経営の合理化、農業従事者の地位向上のための事業を実施した。

農業委員会総会開催状況

定例総会 12回、臨時総会 1回

・取扱件数

区	分	件 数
農 地 法	第 3 条 権利移動制限	12
	第 4 条 転用制限	1
	第 5 条 転用のための権利移動制限	31
	第 20 条 賃貸借の解約	13
農 業 経 営 基 盤 強 化 促 進 法		79
計		136

農地相談会の実施 4回

農業者年金業務

農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上に資するとともに、農業経営の近代化と農地保有の合理化を目的とした農業者年金事業を実施した。

加入者数 16人 年金受給者数 154人

農業振興費 決 算 額 16,968,550 円

農業振興事業

・有害鳥獣駆除対策事業

被害予防施設設置補助 561千円

有害鳥獣駆除委託 890千円

- ・環境保全型農業推進事業
 - コンフューザー実証展示ほ場設置補助 216 千円
 - 農業用廃プラスチック処理事業補助 61 千円
- ・りんご腐らん病防除補助 250 千円
- ・アメリカシロヒトリ防除（薬剤） 61 千円
- ・果樹共済掛金補助 420 千円
- ・団体育成事業補助 農業振興 555 千円
 - 特産部会 78 千円
- ・農業資金利子助成 411 千円
- ・中山間地域直接支払事業 5 集落 5,209 千円
- ・特産品振興補助 700 千円
- ・新規作物導入実証研究委託 730 千円

地域営農システム推進事業

- ・町農業支援センター（総合企画部・営農推進部・土地利用部・特産品開発部の4部会）を中心に、地域営農システム推進に向けて取り組みを行った。
- ・農産物の販路拡大及び町特産品の創出等による農業振興を図るため、生産者組織づくりを推進し、その活動を支援した。

農産物直売組織による直売会の支援

金曜夕市	シンフォニックヤード
土曜夕市	鐵のほそ道駐車場
日曜市	びんぐし湯さん館

町ねずみ大根振興協議会及びねずみ大根パワーアップツアーの支援

- ・農産物加工による高付加価値化を進め農業振興を図るため、味ロジックわくわくさかきの活動を支援するとともに、農産物加工センターの管理運営を行った。

生産調整推進対策事業

- ・生産調整実績

作付配分数量	水稻作付確定面積	水稻作付面積	達成率
852t	139.6ha	138.9ha	99.5%

- ・生産調整推進補助 2,000 千円
- ・平成 19 年度に向けた生産調整推進の取り組み

町水田農業推進協議会 幹事会 2月6日
 総会 2月22日
 地区説明会 3月8日、9日、12日、13日

農地銀行活動促進事業

- ・農地の流動化を通じ、経営規模の拡大、担い手農家の育成・確保及び農地の有効利用を図った。

平成 18 年度末現在の利用権設定済面積 71.1ha
 平成 18 年度中の利用権設定面積 12.1ha

- ・「さかきファミリー農園」を各地区に設置し、農業への関心を高めるとともに、遊休荒廃農地の解消を図った。

5園（栗田、金井、中之条、上五明、月見）面積 6,927 m²を開園し、58 区画の貸付を行った。

畜産業費 決 算 額 13,500 円

家畜環境衛生巡回指導

乳牛 1 戸，肉牛 1 戸

北信家畜畜産物衛生指導協会負担金 13 千円

農 地 費 決 算 額 132,942,454 円

土地改良事業償還負担金 75,920 千円

平成 15 年度以前に行った、土地改良事業に対する地元借入金の償還元金を負担した。

農道等基盤整備町単事業 24 地区 9,373 千円

（単位：千円）

地 区 名	工 種	事 業 費	地 区 名	工 種	事 業 費
沢 田	水路改修	210	大 道	路面排水	210
中之条排水樋管	量水計設置	40	宮ノ下水門	量水計設置	40
南 北 橋	水路改修	263	荒 井 堰	水路改修	473
片山・平沢	法 留 工	368	山 口	法 留 工	578
小 安 場	法 留 工	116	大永工業北	水路改修	598
土井の入	水路改修	514	御 所 沢	水路改修	320
新町用水取水	取 水 工	189	福沢川橋梁	護 岸 工	578
鼠橋運動公園	道路復旧	294	花卉団地南西	水路改修	178
住 山	法 留 工	157	前 河 原	水門改修	730
土井の入	取 水 工	210	清 水	水路改修	525
仲 田	水路改修	157	村 東	漏水防止	525
小 網	漏水防止	190	中之条用水	取水工	586
			合 計	24 地区	8,049

・委託料 185 千円

・重機借上料 1,139 千円

町単補助事業 7,693 千円

地元からの要望に応えるため、地元の役務を伴う工事に原材料を支給し、また地元発注工事の補助を図った。

- ・原材料支給 700 千円
- ・農林土木町単補助工事 6,993 千円

区名	工種	事業費	区名	工種	事業費
鼠	水路改修	500	北日名	水路改修	350
入横尾	水路改修	600	日名沢	水路改修	500
町横尾	林道補修	183	苅屋原	水路改修	500
御所沢	林道舗装	500	上五明	水路改修	500
込山	農道舗装	450	上平	農道整備	750
南日名	水路改修	730	小網	農道舗装	500
北日名	水路改修	410	月見	水路蓋掛	520
			合計	14 地区	6,993

ため池等整備事業 10,150 千円

- ・県営ため池等整備事業 小野沢上の池地区

県営事業として平成 17 年度に新規採択され、平成 19 年度までの 3 力年計画による老朽ため池改修事業で、平成 18 年度は、堤体工、余水吐工、取水施設工の工事を行った。

(県事業費 29,000 千円 町負担金 10,150 千円)

元気な地域づくり交付金事業 11,249 千円

- ・元気な地域づくり交付金 仲田地区

国庫補助を受け、残額を地元負担金(農林漁業資金借入)等により事業実施した。

(単位：千円)

地区名	工種	事業量	決算額	左の財源内訳			
				国・県	地方債	その他	一般財源
仲田	農道整備	農道整備工 L=207m W=2.0~4.0m	11,249	5,610	-	5,400	239

林業振興費

決算額 62,030,500 円

林業振興一般経費

緑化事業

- ・町花ばら無料頒布

(3 小学校入学児童に記念頒布 4 月 5 日実施、対象児童 149 名)

- ・ 和平植樹祭 (雨天中止、後日坂小学友林活動でコナラ・シラカバ・カエデ植樹)
- ・ 森林整備地域活動支援交付金事業
南条生産森林組合(39ha 対象) 上五明区(10ha 対象)
森林整備に対して交付金を支給する。 490 千円(県補助金 367 千円)
- ・ 間伐対策事業
南条生産森林組合のつる切りに対し補助金を支出 303 千円(県補助金 173 千円)

松くい虫防除対策事業

松くい虫被害まん延防止のため防除、被害木伐倒駆除を実施した。

- ・ 空中散布
カーテン散布：苅屋原 10ha、上平 15ha の 25ha に実施。
実施日 6 月 10 日 1,226 千円(県補助金 885 千円)
- ・ 伐倒駆除：町内一円の山林について実施。
1,832 立方メートル(1,939 本) 23,489 千円(県補助金 15,132 千円)
- ・ 一般の委託では対応できなかった伐倒困難な被害木 45 本について、特殊伐採を実施。 715 千円

町有林管理事業 4,087 千円

町有林育成のための下草刈(南条、坂城、村上) 補植(坂城、村上) 除間伐(南条、中之条) 忌避剤塗布(坂城) 境界刈一般管理(南条、中之条、坂城)を行った。

特用林産振興事業

五里ヶ峰トンネル横抗を活用した原木きのご栽培のための作業所(79.4 m²)の建設及び横抗の改良を行った。

- ・ 補助事業 14,868 千円(県補助金 7,080 千円)
 - 作業用建物工事 8,662 千円
 - 培養施設改良他工事 5,197 千円
 - 実施設計委託 1,008 千円
- ・ 単独事業
 - 敷地造成工事 1,182 千円
 - 作業用建物工事 2,551 千円
 - 培養施設改良他工事 493 千円
 - 殺菌釜修理工事 577 千円
 - 殺菌釜設置工事 493 千円
 - 用地買収費 8,612 千円
 - 県営水道配水管新設負担金等 1,368 千円
 - 用地測量委託等 291 千円

林道事業費

決 算 額 7,131,672 円

○林道事業一般経費

- ・ 林道、作業道補修、草刈等賃金 1,148 千円
- ・ 林道、作業道補修重機借上 3,279 千円
- ・ 林道補修用原材料(生コン・碎石等) 987 千円
- ・ 林道補修工事 1,699 千円

7 商 工 費

商工総務費 決算額 55,263,451 円

坂城町中小企業能力開発学院補助事業 補助金 1,600 千円

中小企業の従業員等の専門的知識・技能の習得を目的として県職業訓練校の認定により、3教科10コースの専門課程を設置し、中小企業の人材育成等を図った。

教科名	コース名	修了者数
コンピューター	入門コース(3回)	36
	中級コース(2回)	17
	アクセス(1回)	6
	法人会計(1回)	5
工場管理	JIS機械製図入門	9
一般事務	社会保険実務	8
	新入社員研修	56
合計	10コース	137
その他	ISO導入研修会ほか	71

国際交流事業

ベトナム ホーチミン国家大学、中国遼寧省營口市人民政府友好交流団来町及び湛江師範大学日本語教員訪日団が来町し友好交流を図った。

また、民間主導で国際交流を進める坂城町国際交流協会の事業に対する補助を行なった。

国際交流関係事業費 749 千円

国際交流協会補助金 300 千円

商工振興費 決算額 398,526,328 円

長期化する経済の低迷、グローバル化の進行、景気の不透明感が続くなか、町内企業を取り巻く状況は依然として厳しい状況にあり、低コスト・短納期化が求められ、一部の企業を除いて受注拡大への取組みが続いている。

こうした情勢の中で、町内企業の経営安定を最重点として、制度資金の有効活用の促進・相談業務の充実に努めるとともに、消費拡大と地域経済の活性化、産業の高付加価値化を図るため、経営改善事業、商工業振興補助事業等を実施した。

補助金等の状況

名 称	決算額(千円)	備 考
商工会補助金	8,500	経営改善普及事業
商工業振興補助金	12,751	31社
商業フェア補助金	250	
テクノフェア補助金	1,200	出展4回
企業人権同和教育推進協議会 "	100	
計	22,801	

保証料補給の状況

区 分	件 数	決 算 額 (千 円)
町 振 興 資 金	46	6,883
県 制 度 資 金	103	20,147
商 工 貯 蓄 融 資 資 金	5	92
計	154	27,122

預託金の状況

預 託 先	資 金 区 分	決 算 額 (千 円)
町 内 金 融 機 関 (4 行)	中小企業振興資金	320,000

中心市街地活性化事業 28,223 千円

坂城駅前を中心とする中心市街地の活性化を図るため、中心市街地まちづくり基本計画に基づく、商業インキュベータ、コミュニティセンターの管理等を行った。

観 光 費 決 算 額 8,771,700 円

葛尾城・狐落城・あたご山遊歩道整備作業員賃金 252 千円

町民まつり補助事業

第 29 回町民まつり坂城どんどん実行委員会に補助金を交付し、昼間はこども広場、イベント広場、フリーマーケット等の開催、夜はおどり流しを中心として大勢の町民が参加し、郷土の夏祭りを楽しんだ。

- ・おどり連参加数 44 連 1,138 人
- ・町民まつり実行委員会補助金 3,500 千円

ふるさと歴史館管理事業

戦国時代に活躍した村上義清公と信濃村上氏の歴史及び北国街道坂木宿に関する資料を展示した坂木宿ふるさと歴史館の管理運営を行った。

- ・開館日数 304 日
- ・入館者数 4,050 人
- ・事業費 3,571 千円

商工企画費 決 算 額 68,661,574 円

坂城テクノセンター支援事業 52,252 千円

坂城町及び周辺地域の企業の研究開発、技術の高度化、人材育成等を支援する坂城テクノセンターの運営のため、「財団法人さかきテクノセンター」に補助を行った。

また、平成 4 年度及び 5 年度に借り入れた坂城テクノセンター建設費の償還に対する補助を行った。

- ・財団法人さかきテクノセンター運営補助金 21,000 千円
- ・財団法人さかきテクノセンター建設費償還補助金 31,252 千円

鉄の展示館管理運営事業 10,793 千円

町のものづくり技術、産業振興の向上及び人間国宝「故宮入行平刀匠」を顕彰し、芸術文化の向上を図るため、企画並びに運営に係る事業を行った。

- ・開館日数 287 日
- ・入館者数 7,230 人

創業支援施設管理事業 3,964 千円

新規創業希望者並びに新分野への進出に係る研究開発等を支援するため、創業支援施設「B・Iプラザさかき」の運営を行った。

- ・入居企業数(企業又は個人) 11 社

8 土 木 費

道路橋梁総務費 決 算 額 19,425,248 円

道路台帳整備保守管理業務 3,694 千円

町内道路改良箇所及び廃止・認定町道の現況等に併せて道路台帳の整備をし、事務の効率化を図った。

町単補助事業費

各区の申請に基づき、4月18日～21日に申請の全箇所を、各区長・区役員等と現場を調査し、緊急性、区の要望順位等を考慮して箇所決定した。

・ 23区 31箇所 13,999 千円

道路維持費 決 算 額 14,166,013 円

道路の舗装・側溝、等の維持・補修について、地元の要望にもとづいて対応した。

・ 道路維持工事 23箇所 10,990 千円

・ 道路補修用材料 1,384 千円

アスファルト補修材・水路甲蓋・グレーチング等を購入し、直営で補修をした。

道路新設改良費 決 算 額 251,494,898 円

○A01号線道路改良事業 41,026 千円

本事業は、都市計画道路坂都1号線のうち、鼠橋通り交差点から南条小学校までの区間の697mを、幅員16m（両側歩道3.5m）で整備するもので、平成18年度事業を一部繰越で平成19年度に完成する。

・ 地方特定道路整備事業（起債充当率90%） 120,000 千円

工事費 3件 42,210 千円

（内、平成19年度へ繰越分 2件 34,755 千円）

用地費 7件 18,856 千円

（内、平成19年度へ繰越分 4件 10,658 千円）

補償費 建物等の補償 7件 57,726 千円

（内、平成19年度へ繰越分 3件 53,686 千円）

測量費 2件 1,050 千円

事務費 158 千円

まちづくり交付金事業 A01号線文化センター北交差点道路改良工事
（交付金40% 起債充当率75%）

・ 文化センター北の交差点を整備し、信号機の設置を要望した。10,313 千円

工事費 1件 8,190 千円

用地費 1件 2,123 千円

A09号線道路改良事業 32,393千円

本事業は、しなの鉄道テクノさかき駅の開業に伴い、鼠橋通りからテクノさかき工業団地までの農業用道路を、延長794m、幅員9.25m（片側歩道W=2.5m）で基幹道路として整備する。

・地方特定道路整備事業（起債充当率90%） 60,000千円

工事費	3件	44,625千円
（内、平成19年度へ繰越分	2件	30,898千円）
用地費	4件	14,046千円
補償費	1件	332千円
測量費		525千円
事務費		472千円

道路新設改良一般事業 28,118千円

・0066号線道路改良事業

地方道路整備臨時交付金事業（交付金） 27,000千円

田町旧道から山王神社前までの道路L=250mをW=5.0mに拡幅し、防災・観光周遊の歩車共存道路として、平成17年度～平成18年度で整備した。

工事費	3件	24,192千円
用地費	3件	1,006千円
補償費	4件	1,048千円
測量費		735千円
事務費		19千円

まちづくり交付金事業 開畝地区周辺道路整備事業 6,074千円

測量設計委託（団地取付道路） 4,725千円

電柱移転補償 776千円

まちづくり交付金事業 坂城駅周辺道路整備事業 76,043千円

本事業は、都市再生整備計画に基づき、坂城駅周辺及び開畝地区において実施される事業で、この内、平成18年度坂城駅周辺道路整備事業は、用地買収・補償と一部区間の工事等を実施した。

用地費 9件 A=1,911.13㎡ 69,738千円

工事費 B工区・側溝(L=154.1m) 4,933千円

A01号線道路改良事業(平成17年から18年度への繰越分) 36,794千円

工事費 3件 31,185千円

用地費 1件 2,899千円

補償費 1件 2,710千円

A09号線道路改良事業(平成17年から18年度への繰越分) 27,247千円

工事費 2件 27,247千円

0066号線道路改良事業(平成17年から18年度への繰越分) 3,796千円

用地費 3件 3,796千円

河川総務費 決算額 692,873 円

河川愛護会補助金 19 団体

河川愛護活動（一級河川等の草刈り等）を推進し、河川愛護思想の普及を図った。

河川改良一般経費 決算額 2,220,109 円

水路維持の状況

・水路しゅんせつ工事 2 件 1,590 千円

住宅管理費 決算額 19,134,622 円

町営住宅管理戸数 184 戸(管理人 7 人)

団地名	戸数	構造
横尾団地	69	簡易耐火平屋建 9 戸 木造平屋建 8 戸 簡易耐火二階建 5 2 戸
戌久保団地	30	簡易耐火平屋建
旭ヶ丘団地	11	簡易耐火平屋建
上平団地	31	簡易耐火平屋建
網掛団地	12	木造平屋建
ねずみ団地	19	簡易耐火平屋建
旭ヶ丘ハイツ	12	中層耐火 3 階建

改良住宅管理戸数 16 戸

団地名	戸数	構造
坂端地区	16	簡易耐火 2 階建

住環境整備 2,878 千円

・各団地の居住環境の整備及び老朽箇所の修繕を実施した。

屋根塗装工事	上平	1,120 千円
樹木剪定	旭ヶ丘、横尾、上平、戌久保	650 千円
砂場消毒	横尾、戌久保団地	113 千円
水周り等修繕	各団地	995 千円

住宅新設改良費 決算額 18,391,615 円

まちづくり交付金事業により、(仮称)中之条団地の基本設計及び実施設計を行った。

- ・公営住宅設計委託(4棟40戸) 11,865 千円
- ・敷地内倉庫解体工事 6,489 千円

都市計画総務費 決算額 46,427,454 円

坂城駅前駐輪場整備事業

本事業は、財団法人日本自転車普及協会に事業費のおよそ1/2にあたる負担金を納入するとともに、併せて事業事務を担当することにより駅前自転車駐車を整備し、放置自転車の解消を図り駅前の環境整備を実施した。

・自転車駐車場設置負担金 2,926 千円

新設駐輪場 3棟 96台

街路事業費 決算額 126,173,814 円

本事業は都市計画道路坂都1号線の内、主要地方道坂城インター線から一級河川谷川までの区間489m(町横尾工区)を幅員16mで整備するもので、平成18年度は、用地買収及び建物移転等の補償と一部区間の工事等を実施した。

事業内容

・地方特定道路整備事業

用地費 4件 A=639.13㎡ 30,565 千円

補償 建物等移転補償等7件 49,334 千円

工事費 完成断面 L=59m W=16.0m 29,561 千円

下水道事業費 決算額 355,849,000 円

千曲川流域下水道及び町公共下水道の事業推進を図るため、下水道事業特別会計への繰出しを行った。

公園管理費 決算額 26,791,112 円

公園管理一般経費

公園管理業務の効率化等を勘案し、びんぐしの里公園有料公園施設、和平公園宿泊施設の貸し出し、両公園の維持管理、小規模修繕及び保守点検業務について、指定管理者制度を導入し、(株)坂城町振興公社に委託した。

その他町内公園の草刈、清掃等管理業務を(社)更埴地域シルバー人材センターに、委託した。

また、さかき千曲川バラ公園トイレの建設、中之条コミュニティ公園の造成工事を実施した。

(単位：千円)

区分	内容		決算額
委託料	公園管理業務	びんぐしの里公園、和平公園	9,861
		その他の公園	1,779
工事請負費	施設整備工事	さかき千曲川バラ公園トイレ整備工事	4,553
		中之条コミュニティ公園造成工事	2,991

花と緑のまちづくり事業

さかき千曲川バラ公園の整備維持管理を行うとともに、個人、地域、自治区による花と緑の町づくり活動の支援を行い潤いのある町づくりを行った。

(単位：千円)

公共緑化	緑化苗木配布、町道沿線等	1,322
ウォーキングステーション・ばら公園管理	シルバー人材センターへ委託	1,297

高速交通総務費

決 算 額 33,191,804 円

駅管理業務委託

しなの鉄道(株)経営改革の一環として平成 13 年 4 月 1 日から、テクノさかき駅の出改札業務を、また平成 15 年 4 月 1 日から坂城駅の出改札業務も加えて、しなの鉄道(株)と駅業務委託契約に基づき受託している。

この受託している業務を、(社)更埴地域シルバー人材センター及び(有)信州観光バスに再委託し、しなの鉄道(株)の一株主として経営改革を支援する一方、公共交通機関である鉄道利用の推進を図った。

- ・ 管理業務委託料 7,601 千円

循環バス運行補助金

平成 14 年にそれまでの福祉バスから、路線バス方式の循環バスに移行し、道路運送法第 42 条のバス運行事業者である(有)信州観光バスが運行にあっている。

平成 15 年 4 月 1 日に坂城駅業務が町に委託されたことにより、(有)信州観光バス坂城営業所を坂城駅内に設置し、駅業務と循環バスの連携を深め、主として公共交通機関を移動の手段としている移動制約者の利便性の向上に努めた。

- ・ 運行補助金 10,900 千円

しなの鉄道近代化設備整備費補助金

しなの鉄道近代化設備整備費補助事業により、坂城駅の列車とホームとの段差解消のためにホームの嵩上げをし、バリアフリー化を進めた。

- ・ 整備費補助金 9,624 千円

地籍調査事業費

決 算 額 2,454,585 円

坂城 3 区地籍調査事業

- ・ 調査面積 = 0.19 k m²
- ・ 調査筆数 = 637 筆
- ・ 調査区地権者数 = 189 名
- ・ 調査区単位区域 = 大字坂城字原の一部、字古沢の一部、字唐鉾の一部、
字四ッ屋の一部、字山王の一部

上記事業内容について、一筆地調査後、再立会等が必要な筆の継続調査を実施した。

網掛 3 区地籍調査事業

- ・ 調査面積 = 0.19 k m²
- ・ 調査筆数 = 720 筆
- ・ 調査区地権者数 = 141 名
- ・ 調査区単位区域 = 大字網掛字宿の一部、字宮沖の一部、字大御門の一部、字浜場の一部、字前河原の一部、字上手の一部、字原の一部、字堀上の一部、
大字上五明字旅屋場の一部

上記事業内容について、一筆地調査後、再立会等が必要な筆の継続調査を実施した。

行政財産の立会

主に道水路の立会を行った。(6 6 件)

9 消 防 費

消防団の活性化を推進するため、消防施設の整備、装備の充実、消防団員の処遇改善等について、年々充実強化に努めているが、本年も「災害に強い町づくり」を目指し次の事業を実施した。

常設消防費 決 算 額 196,071,100 円

- ・千曲坂城消防組合負担金 195,743 千円
- ・消防防災航空隊負担金 328 千円

非常備消防費 決 算 額 28,604,264 円

- ・分団数 12 分団
- ・消防団員 265 人
- ・火災発生数 9 件（前年 16 件）

(1)訓練等の実施状況

非常時に備えるとともに、消防団員の技術及び資質の向上を図るため、下記の訓練講習会を実施した。

訓 練 等	期 日	内 容
幹部研修会	4 月 4 日	新分団長を対象に町条例・規則及び出勤計画等に研修会を実施
規律訓練	5 月 13 日	消防団新幹部・新入団員及び婦人消防隊正副分隊長を対象に実施
町ポンプ操法大会	7 月 2 日	消防技術の向上と消防団員の士気高揚を目的に実施
埴科ポンプ操法大会 及びラッパ吹奏大会	7 月 9 日	第 9 分団、第 10 分団及びラッパ分団が出場
県総合防災訓練	10 月 24 日	木曽町で実施された県総合防災訓練の視察
救急救命講習会	12 月 3 日	分団長及びラッパ分団を対象に実施
出初式	1 月 28 日	消防団・婦人消防隊の出初式を挙行

(2)火災予防活動

- ・消防の日（毎月 1 日、15 日）
- ・火災予防運動週間（春・秋）防災週間
- ・歳末特別警戒（12 月 26 日～30 日）

(3)消防団活動への補償等

年報酬の支給	退職報償金の支給
出勤交付金の支給	公務災害補償共済への加入
分団運営補助金の支給	退職・退任者への記念品の贈呈
機械器具整備補助金の支給	

(4)消防団活動服の導入

消防団活動服（アポロキャップ、上衣、下衣、ベルト等）を新たに導入し、火災や訓練等の際に現場で活動しやすい環境づくりに努めた。

消防施設費

決算額 11,282,874 円

消防施設、機械器具の維持管理

ポンプ自動車	5台
小型動力ポンプ	20台
積載車	17台
防火水槽	145基
消火栓	366基
詰所・器具庫	30ヶ所
防災行政無線	35台

消防団詰所への下水道接続工事

下水道の供用開始に伴い、第4分団、第6分団、第8分団に下水道接続工事を行った。

水防費

決算額 6,002,763 円

9月3日の町防災訓練にあわせ、町民対象の水防訓練を文化センターグラウンドにおいて行なった。

3箇所の水防倉庫・町防災センターの維持・管理及び備蓄材料の充実に努めた。また、千曲川河川事務所及び千曲建設事務所、等と危険箇所のパトロールを実施し状況を調査して、ハザードマップの整備を進めた。

10 教育費

教育委員会費

決算額 1,338,576 円

会 議

会 議	回 数
定例会	12
臨時会	1

事務局費

決算額 81,880,159 円

私立幼稚園就園奨励費

国の交付基準に基づき、対象者80人へ、6,293千円の幼稚園就園奨励費を交付。

(補助率1/3以内・国庫補助金1,668千円、町費4,625千円)

坂城幼稚園補助金 3,843千円

内訳 運営費補助2,889千円、給食補助 954千円

和平国際交流村補助金 400千円

小学校児童中国満城県教育交流事業補助金1,750千円

就学援助費

(単位：千円)

学 校 別	対象児童生徒数	支払額
南条小学校	26人	1,292
坂城小学校	13人	560
村上小学校	19人	919
坂城中学校	44人	3,801
合 計	102人	6,572

特殊学級就学奨励費

補助率 1 / 2

(単位：千円)

区 分	対象児童生徒数		支払額	うち 国庫補助金
	小	中		
特 殊 学 級	13	5	513	218

小学校費

決 算 額 88,064,848 円

坂城小学校

- ・ 体育館床塗装工事 2,604千円、体育館フローリング修繕工事 281千円、
図書室エアコン設置工事 780千円、
繰越工事 図書室小屋裏アスベスト除去工事 15,492千円(国庫補助金 1/3)

南条小学校

- ・ 会議室防水改修工事ほか 1,068千円

村上小学校

- ・ 扇風機取付工事 1,034千円、浄化槽営繕工事 590千円

中学校費

決 算 額 48,360,099 円

- ・ A E T (英語指導助手) 設置事業 4,803千円
英語力の向上・外国文化の吸収を図る。

社会教育総務費

決 算 額 97,337,342 円

- ・ 社会教育委員 7名 会議等 8回
社会教育委員研修会等に参加・研修し、生涯学習の振興のために務めた。

事業実施状況

- ・ 「文化の館」事業 1,244千円
だれもが気軽に参加できる合同お茶会、俳句会を開催した。

・補助金等の状況

(単位：千円)

名 称	交 付 額
文 化 協 会 補 助 金	9 0 0
婦 人 会 連 絡 協 議 会 補 助 金	2 5 0
千 曲 川 坂 城 陣 太 鼓 保 存 会 補 助 金	1 6 2
坂 城 町 P T A 連 合 会 補 助 金	9

公民館費

決 算 額 24,292,103円

文化・芸術等生涯学習に関する事業 1,683千円

・地域に根ざした文化・芸術活動を目指し、町民の学習要求に応じた講座の開設や生涯学習を目的として各種事業を実施した。主なものは次のとおり。

文化講座の開設(16教室)・・・生涯学習の一環として、初心者から学べる学習の機会を年間の講座として開設した。(参加者 延べ約3,000名)

公開講座の開設・・・町民ニーズに応じた様々な講座を開設した。また分館独自の出前講座の開設も推進した。(参加者 延べ約1,000名)

第6回千曲川シネマフェスタ(9月2、3日)・・・記録映画をもとにした映画祭を開催した。(2日約200名、3日約80名)

第28回納涼音楽会(7月22日)・・・サークル・グループが一堂に会しての音楽会。(参加者 約300名、9団体)

第35回文化祭(10月28日・29日)・・・町民の文化活動発表の場として文化センターなど5会場で開催した。

席書大会(1月4日～6日)・・・園児から大人まで新年の抱負を筆に託しての書き初め大会(参加者 127名)

健康・体力の増進に関する事業

老若男女を問わず、誰でも気軽に参加できる運動の普及により、スポーツ人口の拡大を図った。また、地区での年間を通じての体力作りの奨励を行った。

5月21日(日) 第30回春のスポーツ大会

・ビーチボールの部(女子) 25分館(30チーム)

・ソフトボールの部(男子) 26分館

10月1日(日) 第46回町民運動会

町民みんなが参加し、親睦と融和を図ることを目的に実施した。全27分館参加。

2月18日(日) 第20回分館対抗球技大会

冬場の運動不足解消と、スポーツを通じての世代間交流を図るためスマイルボウリングを実施した。 26分館/70チーム

51回成人式(8月15日) 387千円

成人を迎えられた皆さんをお祝いした。

公民館報発行(343～347) 568千円

住民参加による住民のための広報活動を進め、情報提供並びに啓発活動を行い地域連帯意識の高揚を図った。

分館活動推進

分館活動の独自性を重視するとともに、本館事業への協力と連携により円滑な公民館活動を行うよう努めた。また、分館活動の拠点として分館整備を図った。

分館活動助成金 2,141千円(均等割及び世帯割)

分館等施設整備補助事業 750千円(内訳下表)

施設名	内容	補助金額
金井分館	雨漏り修理(屋根漏水)	500
旭ヶ丘分館	外壁、床下改修	250

大宮分館の公民館用地取得 10,453千円

図書館費 決算額 23,719,980円

高度情報化の進展や生涯学習の意欲の高まりなど、大きく変化する社会の中で、上田地域公共図書館情報ネットワークシステム事業【構成市町村等：坂城町・上田市(情報ライブラリー・丸子金子図書館・真田公民館図書室・創造館分室・塩田公民館図書室)東御市・長和町・青木村・長野大学】を推進し、学校図書館との連携を密にし、総合的学習及び調べ学習の充実ならびに、図書館相互の検索、予約、貸出、返却、蔵書点検、レファレンスサービス等の充実を図った。

○さかきふれあい大学(としょかん講座)

源氏物語を読む会	参加者	延べ	240名
文章の書き方講座	参加者	延べ	42名
点字・点訳講座	参加者	延べ	140名
おはなし会	12回	参加者	延べ 450名

○サークル援助

ももたろうの会

かくや姫

児童館・子育て支援センター・小学校等においてのお話し会。

図書整備事業

受入図書冊数 3,286冊

除籍冊数 56冊

年度末蔵書数 110,421冊

(一般図書 68,753冊、児童図書 29,708冊、郷土図書 7,843冊、参考図書 3,366冊、紙芝居 751冊)

年度末視聴覚資料数 ビデオテープ 140巻

受入雑誌種類 49種

受入新聞種類 13種

上田地域公共図書館情報ネットワーク運営委員会等 7回

エコール実務者研修会 10回

図書館利用状況

学習室利用者数

(単位:人)

	小学生	中学生	高校生以上	計
男	32	371	1,309	1,712
女	14	342	762	1,118
計	46	713	2,071	2,830

登録者数 平成7年12月1日からのエコー利用者カード 6,780人
平成19年3月現在、人口 16,489人 41.1%

利用者数

(単位:人)

成人	12,112	一日平均図書館利用者総数 53人 (本年度開館日数277日)
児童	2,590	
計	14,702	

図書貸出冊数

(単位:冊)

成人向図書	42,503	一日平均貸出冊数 270冊 年間町民一人当たり 5冊
児童向図書	32,199	
合計	74,702	

その他の利用状況等

相互貸借	借受	42冊	貸出	50冊
学校ネットワーク利用	学校 (4校)	貸出冊数 6,032冊	坂城小学校	1,930冊
			村上小学校	1,590冊
			南条小学校	2,126冊
			坂城中学校	386冊
複写サービス	複写枚数	1,447枚	徴収料金	18,070円
レファレンス	口頭	180件	電話	17件

文化財保護費

決算額 61,191,391円

県及び町指定文化財、埋蔵文化財の保護・保存を推進するため、パトロール及び啓蒙活動、資料の収集等を実施した。

文化財保護審議会活動

- ・審議会委員6名 ・会議等 6回開催

新地曳き舞台及び大英寺毘沙門堂の2件を新たに町文化財として指定した。

文化財保護団体等に助成を行い、文化財の保護、伝統芸能の保存継承に努め、新たに中之条区に神楽復興を協力、出前講座、講演会等による文化財への啓蒙及び活用を図った。

文化財センター移転を行い、整理室、収納庫、展示室を建設した。

・補助金交付団体等 (単位：千円)

交 付 先	金 額	交 付 先	金 額
地区神楽保存会(9地区)	90	無形文化財保持者	120
十六夜観月保存会	72	自在神社太々神楽保存会	120
葛尾城跡保存会	32	天田薬師保存会	32
自在山烽火台跡保存会	32	和合城跡保存会	32
四ッ屋文化財保存会	58	中之条永代々神楽保存会	250

開発事業等に伴う埋蔵文化財の立会い調査、試掘調査及び緊急発掘調査等による記録保存や盛土による遺跡の保護に努めた。

・緊急発掘調査 (単位：千円)

開 発 事 業 の 名 称	遺 跡 名	発掘面積	調査内容	決算額
(株)ベイシア店舗建設事業	青木下遺跡		整理作業	4,384
八十二銀行店舗建設事業	込山D遺跡		整理作業	2,702
町営住宅建設事業	開畝遺跡	1,500 m ²	発掘調査	7,050

・町内遺跡試掘調査 (単位：千円)

遺 跡 名	決算額
出浦遺跡、御堂川古墳群、田町遺跡群、宮上遺跡、四ッ屋遺跡群、宮上遺跡、町横尾遺跡、上五明条里水田址、村上氏城館跡、日名沢遺跡群、込山遺跡群、日名沢遺跡、南条遺跡群	2,061

啓蒙活動 (単位：千円)

事 業 名	内 容	決算額
さかきルネッサンス 村上氏・坂木宿展示事業	「坂木宿ふるさと歴史館」展示品の作製 (和算パネル・模型等)	9,398

資料館管理費 決算額 2,056,008 円

県宝である格致学校歴史民俗資料館に、歴史文献資料を収集し「歴史の森教室」を設置、広く町民に文化遺産を公開した。

また、町の文化祭に合わせ絵画展を開催した。

- ・施設の見学者数 247人
- ・絵画展の見学者数 172人 合計見学者数 419人

文化センター管理費 決算額 16,061,665 円

快適で利用しやすい施設運営に努めた。

・利用状況

使用者総数 (人)	使用総件数	左の時間帯区分	
		昼 間	夜 間
17,883	1,279	534	745

青少年育成費

決 算 額 2,687,503 円

坂城町青少年を育む町民会議への補助及び青少年向け事業の開催により、地域全体としての青少年育成に努めた。

子ども会リーダー研修会の開催

保護者むけ講演会の共催

通学合宿の支援

・ 補 助 金 青少年を育む町民会議 2,125千円

生涯学習振興費

決 算 額 5,570,913 円

生涯学習を推進するため、町民の要望や意見を取りいれ、住民に様々な学習の機会と情報を提供し、「いつでも、どこでも、だれでも」をテーマに「さかきふれあい大学」を運営した。その中で、教養講座・専門講座・人財バンク・出前講座等の事業を行い、生涯学習の推進に努めた。

(1)さかきふれあい大学

教養講座

	テ ー マ	講 師	開催日時	場 所	受講者
1	「どんな時も大丈夫」～今を輝いていきる～	高木裕樹氏	7月 7日(金) 19:30～21:00	坂城町文化センター	130名
2	「生きるって素晴らしい」	花島堯春氏	8月24日(木) 19:30～21:00	坂城町文化センター	90名
3	『江戸時代に学ぶ「町」づくり』	竹内誠氏	10月28日(土) 14:00～15:30	坂城町文化センター	70名
4	信濃村上氏講演会	福井良盟氏	11月23日(祝) 10:00～11:30	坂城町文化センター	120名
5	ふる里から世界へ「一本の道」【共催】	原田泰治氏	12月15日(金) 14:30～16:00	坂城中学校	200名
6	「体にやさしい…スローな生活」	セーラ・マリ・カミングス氏	2月3日(土) 14:00～15:30	坂城町文化センター	70名
7	「雛人形の歴史」坂城町から三月の節句をみる	小野和英氏	3月24日(土) 13:30～15:00	坂城町中心市街地コミュニティセンター	47名
	計				727名

専門講座 28講座開催 受講者 延べ 480名

人財バンク登録者 74名

出前講座 6件

(2)第13回ライフ・ステージエコー（邦楽コンサート） 1,686千円

保健体育総務費

決算額 13,117,783 円

・体育指導委員 10 名 会議等 17 回

各種スポーツ教室を開催し、町民みなスポーツに親しむことに努めた。また、スポーツ大会については、実行委員会形式を取り入れ、町民自らが企画・運営することを推進した。

行 事

事業名		内 容	
第 3 6 回 元 旦 マ ラ ソ ン 大 会		287 人	
高 齢 者 月 例 交 歓 会	スマイルポウリング	12 回 延べ	1,509 人
	マレットゴルフ	8 回 延べ	704 人
	囲碁ボール	10 回 延べ	72 人
	グランドゴルフ	8 回 延べ	82 人

教 室

事業名	内 容	
よ い 子 の ス ポ ー ツ 教 室	前期 延べ 372 人	後期 延べ 450 人
キ ッ ズ ス ポ ー ツ 教 室	延べ 577 人	
みんなで楽しくウォーキング教室	延べ 32 人	
スキー・スノーボード教室	37 人	
だ れ で も ス ポ ー ツ 教 室	延べ 1,334 人	

補 助 金

(単位：千円)

名 称	決 算 額
坂 城 町 体 育 協 会 補 助 金	740
坂 城 町 ス ポ ー ツ 少 年 団 補 助 金	460

施設の使用状況

施 設 名	使用総件数(件)	使用者総数(人)
坂 城 町 体 育 館	679	28,196
文化センターグランド	453	16,776
坂 城 小 学 校 体 育 館	330	5,788
” グランド	13	610
南 条 小 学 校 体 育 館	240	4,793
” グランド	6	123
村 上 小 学 校 体 育 館	580	13,995
” グランド	86	3,193

坂城中学校体育館	371	8,666
坂城中学校グラウンド	0	0
運動公園野球場	129	3,445
〃 サッカー場	37	1,900
鼠橋運動公園マレットゴルフ場	93	5,336
鼠橋運動公園多目的広場	39	1,990

マレットゴルフ場の使用状況は、団体使用者数を記入。

武道館管理費

決算額 1,735,909 円

町民の健康増進を図るとともに、幼児、女性等の昼間利用者の増進に努め、青少年の心身鍛練の場としても大いに活用されるよう努めた。

使用状況

区	分	使用人数
坂城高校	太鼓	延べ 111人
坂城中学校	剣道部	延べ 3,333人
	剣道クラブ	延べ 1,495人
体育協会	剣道	延べ 1,650人
	太極拳	延べ 355人
	なぎなた	延べ 10人
スポーツ少年団	スポーツチャンバラ	延べ 714人
	スポ少剣道	延べ 3,487人
	スポ少なぎなた	延べ 417人
一般団体	坂城陣太鼓	延べ 54人
	ブラジリアン柔術	延べ 765人
	極真空手	延べ 920人
	個人	延べ 34人
子育て支援	よい子のスポーツ教室	延べ 822人
	まざあぐうす	延べ 20人
その他	教育委員会・公民館行事	延べ 598人

給食センター運営費

決算額 131,554,272円

児童、生徒の心身の健全な発達に資するため、学校給食を実施した。

また、老朽化した給食センターを「学校給食衛生管理基準」に適合した施設に整備するため、町議会議員、区長会代表、小中学校長等による「給食センター建設検討委員会」を設置し、建設候補地等について検討した。

・給食実施状況

学級数	55学級
児童生徒職員数	1,546人
年間給食実施総数	310,163食
年間給食費	83,750千円
1日当たり給食費	小学生 252円、中学生 297円

・会議関係

給食センター運営委員会	2回
給食部会	11回
献立会議	12回
給食費集金打合せ会	3回
地産地消推進打合せ会	1回
給食センター建設検討委員会	3回

1.1 災害復旧費

農道施設等災害復旧事業

決算額 3,914,159円

7月豪雨による農道・用水路の災害復旧工事2箇所を実施した。

(単位：千円)

地区名	工種	事業費
平沢	農道	1,837
荒井	用水路	1,575
合計	2地区	3,412

林道施設等災害復旧事業

決算額 168,000円

7月豪雨による林道の災害復旧工事1箇所について国庫補助事業として採択された。年度内に着手したが、奥地で冬期間工事ができないため19年度への繰越事業として実施している。

(単位：千円)

地区名	事業費
水晶線	3,465
合計	1地区 3,465

公共土木施設災害復旧費

決算額 177,568,092 円

道路等災害復旧費 3,990 千円

平成 18 年 1 月の異常低温により被害を被った町道の舗装について、20 箇所約 7 km の測量の委託を行ない、凍上災害の申請を行った。

道路橋梁災害復旧費 165,692 千円

平成 18 年 1 月の異常低温により被害を被った町道の舗装について 20 箇所約 7 km の工事を行なった。

道路等災害復旧事業費補助金(補助率 66.7% 起債充当率 33.3%)

工事費	20 箇所	158,151 千円
作業員賃金		1,148 千円
委託料		630 千円
使用料		513 千円
事務費		848 千円

河川災害復旧費 7,885 千円

平成 18 年 7 月 18 日～19 日にかけての「平成 18 年 7 月豪雨」により被害を被った河川施設について、災害復旧を行なった。

工事費	2 箇所	7,885 千円
-----	------	----------

12 公債費

決算額 753,041,339 円

元金 長期債定期償還元金 603,647 千円

利子 長期債定期償還利子 149,394 千円

(参考)平成18年度起債借入状況

	起債区分	事業名	借入額(千円)	摘要
1	一般単独事業債	臨時地方道整備事業 (繰越分)	35,100	A01・A09
2	一般単独事業債	坂城小学校大規模改造 事業(繰越分)	9,600	
3	一般単独事業債	特用林産物施設等整備 事業	15,000	
4	一般公共事業債	災害関連(ため池)	10,100	
5	一般単独事業債	臨時地方道整備事業	140,600	A01・A09・ 坂都1号線
6	公営住宅建設事業債	中之条団地整備事業	3,900	
7	一般単独事業債	まちづくり交付金事業	24,500	駅南進入路・ 開畝地区
8	災害復旧事業債	現年発生補助災害	45,100	凍上災害復旧・ 林道災害復旧
9	減税補てん債		37,100	
10	臨時財政対策債		215,200	
合計	10件		536,200	

起債残高

(単位:千円)

平成17年度末	増 減	平成18年度末
7,670,584	67,447	7,603,137

特別会計

1 有線放送電話特別会計

決算額 63,711,037 円

有線放送電話により、行政情報、生活情報などの広報活動を行った。

利用状況（平成 19 年 3 月 31 日現在）

加入回線数 3,642 回線（加入率 63.6% : 5,728 世帯）

〔内 訳〕

一般加入者	3,384（加入率 59.1%）
役場、出先	112
公民館、集会所	39
その他公共機関・詰所等	68
農 協	20
公衆有線	19

ページング放送

・グループ放送登録数	グループ数	28 グループ
	登録加入者数	865 人
・ページング放送回数	（平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月）	
	地区別放送	500 回
	グループ別放送	23 回
	合 計	523 回

インターネット利用状況（平成 19 年 3 月 31 日現在）

- ・ダイヤルアップ 121 件（イフパレ 106 件、ジャニス 15 件）
- ・A D S L（高速） 304 件（イフパレ 206 件、ジャニス 98 件）

有線放送企画委員会

有線放送企画委員（7 名）の協力を得ながら、保育園、幼稚園の年長の園児による「一年生になったら」、小学生による放送コンクールの作文を放送するなど、住民参加による番組づくりを実施した。

2 国民健康保険特別会計

決算額 1,379,390,380 円

平成 18 年度の国保加入状況は、年度平均で世帯数が 3,166 世帯、被保険者数が 6,198 人で町民全体に対する加入率は 36.2%となっている。

平成 14 年 10 月の法改正で老人保健対象年齢が引き上げられたため、老人保健対象被保険者は年度末 1,654 人で、全被保険者の 26.7%と減少しているが、70 歳以上の高齢受給者は 567 人となっており、高齢被保険者の急速な増加が医療給付費等の増加に大きく影響を及ぼしている。

医療費全体については、平成 18 年度総額で 2,465,859,632 円で前年度と比べ 1.85%の増となっており、制度別の内訳では、一般被保険者が 632,013,993 円(4.0%の増) 退職が 529,005,643 円(4.7%の増) 老人が 1,304,839,996 円(0.25%の減)となっている。また、国保全体の一人当たり医療費(平成 17 年 3 月から平成 18 年 2 月診療分で柔整・療養費を除く)は、392,480 円(2.0%の増)となっている。

一方、歳入の中心である保険税の現年分の収入済額は 493,507,700 円で、徴収率は 94.2%となっている。医療給付分の収入済額は 449,870,499 円で、徴収率 94.4%、介護納付金分の収入済額は 43,637,201 円で、徴収率 92.7%となっている。

また、出産育児一時金の支給は 14 件、葬祭費の支給は 93 件、人間ドック補助は、288 件となっている。

国保では、制度全体の傾向である高齢被保険者の増加に伴い、保険者の負担も増加していることから、重複多受診者への訪問指導、糖尿病改善訪問指導に併せ、被保険者への人間ドック補助金を通じた健康管理、国保財政の安定化に向けて医療費適正化対策、保険税の収納率向上に努めている。

(単位：千円、%)

区 分	調 定 額		収 入 済 額		収 納 率		
	現年分	滞繰分	現年分	滞繰分	現年分	滞繰分	合計
国 保 税	523,735	64,949	493,508	18,486	94.2	28.5	87.0

3 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計

決算額 23,939,189 円

歴史的社会的理由により、生活環境の安定向上が阻害されている地域の環境等整備の改善を図るため、平成 8 年度まで実施した住宅新築資金等の貸付事業の償還事務を行った。

4 老人保健特別会計

決算額 1,673,844,919 円

高齢化の進展の中で、増大する老人医療費の伸びを適正化するため、平成 14 年 10 月に大幅な医療制度改革が行われた。

医療を受ける対象者は、平成 19 年 3 月 31 日現在、75 歳以上の者（健康保険法等の一部を改正する法律により 75 歳以上の者とみなされる者を含む）2,221 人と、65 歳以上 75 歳未満の重度心身障害者 122 人、合わせて 2,343 人となり、昨年同期の 2,423 人に比べ 3.3% 減少となった。

総医療費は、昨年度に比べ 3.6% 減の 1,804,164,632 円で、うち自己負担金は 154,815,049 円で、残り 1,649,349,583 円が老人保健法による医療負担額であり、老人の医療を支えている。

事業の状況

(単位:千円)

事業名	内 容	決算額	財 源 内 訳			
			国・県 支出金	地方債	その他	一般財源
老人保健 医 療	<ul style="list-style-type: none"> ・ 75 歳以上の者 ・ 65 歳以上 75 歳未満 の重度心身障害者 ・ 対象者... 平均 2,389 人 ・ レセプト件数... 59,119 件 	1,649,350	608,508		891,707	149,135

5 下水道事業特別会計

決算額 813,849,849 円

公共下水道事業

平成 12 年 10 月 1 日の供用開始から、平成 18 年度末の時点において供用面積は 264ha に達し、下水道の普及率は 46.9% となっている。

これに対する接続率は 66.7% で 5,171 人、100 事業所が下水道を使用している。

平成 18 年度事業については、中之条、戌久保、上五明地区を中心に管渠工事を実施するとともに、一部の工区について工事期間が不足するため、繰越事業として平成 19 年度で工事を進めている。

・管渠布設工事

交付金事業

(単位：千円)

箇所	内容	金額
中之条 1 工区	150～200mm 開削 L=899.7m	20,300
中之条 2 工区	150～300mm 開削 L=870.8m	34,234
中之条 3 工区	150～200mm 開削 L=837.3m	19,900
戌久保 工区	150～200mm 開削 L=668.4m	22,800
中之条 4 工区	150～200mm 開削 L=835.3m	27,030
上五明 工区	500mm 推進 L=148.2m	23,800
実施設計委託(その1)	坂城1号幹線(芝原踏切下～塚田踏切)一式	10,889
実施設計委託(その2)	中之条字寺浦～上町 一式	5,019

単独事業

(単位：千円)

箇所	内容	金額
上五明宮下 工区	150～200mm 開削 L=164.9m	8,085
上五明向畑 工区	150～200mm 開削 L=213.5m	11,550
中之条宮上 工区	取付管及びます工、付帯工 一式	3,833
大宮・四ツ屋 工区	取付管及びます工 2箇所、付帯工 一式	378
坂城込山 工区	150mm 開削 L=68.6m	3,213
東柳原 工区	150mm 開削 L=31.9m	1,544
中之条東町 工区	150mm 開削 L=70.5m	6,405
中之条・戌久保 工区	150～200mm 開削 L=200.3m	11,970
日名沢 工区	100mm 開削 L=13.6m	275
上五明 工区	付帯工 一式	595
中之条宮上 2 工区	付帯工 一式	142
大宮 工区	取付管及びます工 5箇所、付帯工 一式	599
中之条清水 工区	150mm 開削 L=32.7m	583
公社監理委託	現場監理、業務監理 一式	662
実施設計委託(その1)	坂城字原 一式	1,292
実施設計委託(その2)	坂城字東柳原 一式	1,281
実施設計委託(その3)	坂城字前田 一式	1,271
実施設計委託(その4)	大字坂城 一式	296
国土調査基準点復元	大字坂城・中之条 一式	893
平面測量業務委託	大字坂城・中之条・南条 ・上五明・網掛 一式	998
地下埋設物移転補償ほか	大字中之条 一式	27,094

平成18年度繰越明許費

(単位：千円)

箇 所	内 容	総事業費	18年度 支出額	繰越明許費
中之条1工区	150～200mm開削	45,455	20,300	25,155
中之条2工区	150～300mm開削	48,489	34,234	14,255
中之条3工区	150～200mm開削	46,106	19,900	26,206
戌久保工区	150～200mm開削	28,287	22,800	5,487
中之条4工区	150～200mm開削	43,733	27,030	16,703
上五明工区	500mm推進	49,172	23,800	25,372
公社現場監理委託	一式	9,924	0	9,924
地下埋設物移転補償ほか	一式	23,000	16,100	6,900

流域下水道事業

上位計画である千曲川流域下水道上流処理区の事業に伴い負担金を支出した。

・負担金 16,518千円

公債費元利償還金 370,808千円

上流処理区維持管理負担金 45,307千円

6 工業地域開発事業特別会計

決算額 331,031,528円

坂城インター工業団地の1区画(3,695.56 m²)をサンキン(株)に、大字中之条字開畝地籍の工業用地(4,063.91 m²)を(株)柳沢精機製作所に、柳原工業団地の工業用地(3,264 m²)を(株)アルプスツールに分譲した。

急速に進む高齢化社会に対応し、介護が必要な高齢者ができる限り自立して暮らせるよう、平成12年度に介護保険制度が創設された。その後、大幅な制度改正が平成18年度に実施され、本年度はその1年目であった。

当町における介護保険の運営状況については、制度の浸透とともに受給対象者となる介護・要支援認定者数が増加し、平成19年3月末現在676人で、延べ855件の要介護認定等申請を受け付け、認定調査、主治医意見書の依頼、長野広域連合における審査会の一連の手続きを経て、審査結果を通知した。

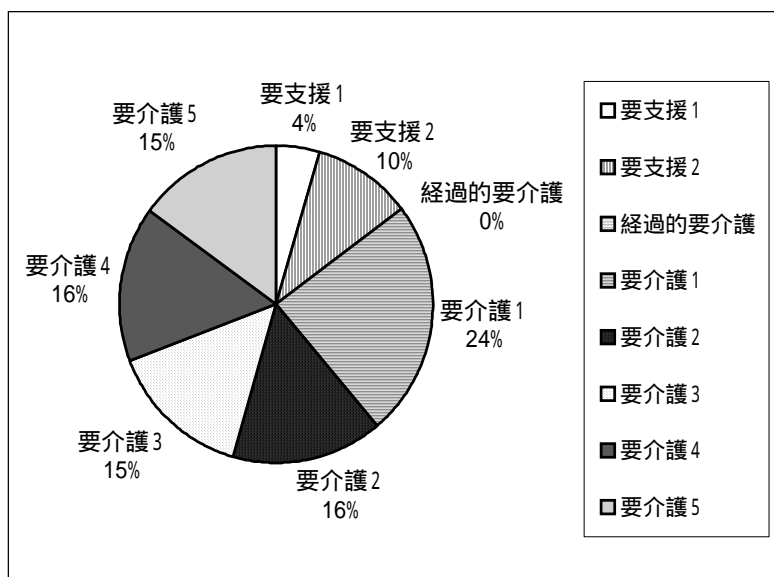
介護保険サービス事業者の増加に伴い、「お年寄りのための老人保健福祉・介護保険サービスガイド」等を活用し制度の浸透に努めた。

平成18年度の保険給付額は、847,499千円で、前年対比10.9%の増となった。増加の要因は、サービス利用の増加に加え、サービス基盤の充実による増加と考えられる。

また、平成12年度から取組みを開始した、介護保険のサービス事業者や利用者からサービス提供等の話を聞き、相談に応じるなどの活動を行う介護相談員の事業については、毎月介護相談を実施し、利用者の疑問や不安の解消を図ってきたところである。

要介護・要支援認定実施状況（平成19年3月末現在）

要介護度	人数
要支援1	30
要支援2	70
経過的要介護	0
要介護1	162
要介護2	106
要介護3	99
要介護4	108
要介護5	101
合計	676



保険給付の内訳

介護保険給付の内訳	給付額(千円)
介護サービス費	800,801
支援サービス費	12,140
高額サービス費	9,367
特定入所者介護サービス費	23,936
審査支払手数料	1,256
合計	847,500

地域支援事業

給付の内訳	給付額(千円)
介護予防事業	6,122
包括的支援事業 任意事業	7,055
合計	13,177